ハマの元気印
自治会町内会

◉いきいき活動実例編

横浜市町内会連合会

●横浜市の自治会町内会　（団体数は平成18年4月1日現在）

自治会町内会
2,856団体

地区連合町内会
248団体（複数の自治会町内会により構成）

区連合町内会
18団体（各区地区連合町内会長により構成）

市町内会連合会
1団体（18区連合町内会長により構成）

●本書の活用等について

本書は、各区連合会の協力を得ながら、自治会町内会アンケート（平成18年6月～）、取組事例の取材（平成18年10月～）をもとに作成しました。紙面の制約から、回答いただいた活動の全てを掲載できなかったことをお詫びいたします。

本書に掲載している活動について、内容等をより詳細にお尋ねになりたい場合は、各区連合町内会事務局（各区役所の地域振興課）にお問い合わせください。また、掲載団体におかれては、他の自治会町内会から相談等があった際には、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

編集・発行　横浜市町内会連合会
（事務局）　横浜市市民活力推進局地域活動推進課
〒231-0017　横浜市中区港町1丁目1番地　電話：045-671-2317　ファックス：045-664-0734

はじめに

横浜市内には、現在2800を超える自治会町内会があり、その規模も活動内容も地域の実状により様々です。ただ、その様々な活動の基本には共通するものがあります。それは、みんなで力を合わせて、「仲良く暮らそう」「安心して暮らそう」「気持ちよく暮らそう」という熱い思いです。

「仲良く」では盆踊りや運動会、「安心して」では防犯・防災活動、「気持ちよく」ではまちの清掃や花・緑を増やす活動など、多くの地域が様々な活動に熱心に取り組んでいます。そして、これらの活動を地道に積み重ねることにより、住民同士の顔の見える関係が生まれ、いざという時に助け合う絆ができていきます。これこそが自治会町内会の最大の良さと言えましょう。

しかし、今、近隣関係の希薄化や価値観の多様化などもあって、自治会町内会活動に関心を持たない世帯や参加しない世帯が増えつつあり、運営にあたってご苦労されている会長さん、役員さんも少なくないと思います。

そこで横浜市町内会連合会では、今回初めての試みとして、自治会町内会活動の実例を紹介した「ハマの元気印・自治会町内会～いきいき活動実例編」を作成しました。

ここには、地域の知恵や力を結集した活動、新しい発想の活動、運営上の様々な工夫など、元気な活動の実例がたくさん集められています。これらの貴重な活動例の中に、自治会町内会活動を進める上で参考となる多くの秘訣を見つけることができると思います。

今後、自治会町内会活動や運営の参考として大いに活用していただき、今以上に活発な活動をすすめていく上での一助となれば幸いです。

アンケートや取材にご協力いただいた皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成19年2月

横浜市町内会連合会　会長　宮嶋　修

協働の基本は自治会町内会

このたび、横浜市町内会連合会による「ハマの元気印・自治会町内会～いきいき活動実例編～」が発刊されたことを心からお祝い申し上げます。

かねがね、協働の原型は自治会町内会の活動にあると思ってきましたが、今回掲載された様々な活動を拝見し、地域ごとに熱心な活動が展開されていることを改めて実感したところです。

自治会町内会の活動はまさに「自分たちのまちを、自分たちの力でより住みやすくしよう」という自発的な活動であり、その大きな成果は、犯罪件数の減少やG30の取り組みに顕著に表れています。これまでの日頃の地道な活動と御努力に対して敬意を表し、感謝申し上げたいと思います。

本市では、今後の市政の指針となる「横浜市基本構想」と、最初の5か年計画である「中期計画」を策定しました。将来の横浜を創っていく原動力は、横浜の豊富な人材と活気ある地域であり、中期計画では、市民力の発揮を推進するため、地域元気プロジェクトなどの施策に重点的に取り組むこととしています。

近隣関係や地域への関心が薄くなっているといわれる今日、この冊子にあるような元気な活動をより多くの市民の方々に知っていただき、持てる力を生かした活発な活動が広がっていくことを期待しています。

自治会町内会活動のこれからの一層の御発展を祈念いたします。

平成19年2月

横浜市長　中田　宏

目　次

CONTENTS

1.鶴見区

生麦第二地区連合会 ……5
平安町町会（市場地区自治会連合会）／東寺尾第三自治会（生麦第二地区連合会）／馬場町自治会（寺尾第二地区連合会）／上末吉四丁目町会（上末吉地区自治連合会）……6

2.神奈川区

反町第一町内会（青木第一自治連絡協議会）……7
子安通1丁目西浜町内会（子安通1丁目連合自治会）／松見町3丁目町内会（松見連合町内会）／白幡西町自治会（白幡地区自治連合会）／三ツ沢上町町会（三ツ沢連合自治町内会連絡協議会）……8

3.西　区

東久保町東朋会（第3地区町内会自治会協議会）……9
戸部四共睦会（第1地区町内連合会）／杉山町四丁目町内会（第2地区連合町内会自治会）／東久保町東台会（第3地区町内会自治会協議会）／羽沢西部自治会（第4地区自治会連合会）／岡野二丁目町内会（第5地区自治会連絡協議会）／軽井沢自治会（第6地区自治会連絡協議会）…10

4.中　区

本牧二丁目北部町内会（第4地区南部連合町内会）……11
花咲町2丁目町内会（第1北部地区連合町内会）／初黄町内会（第1北部地区連合町内会）／伊勢佐木町3丁目共栄会（第1地区中部連合町内会）／山吹町、富士見町、長者町3・4連合町内会（埋地地区連合町内会）／新山下1丁目自治会（第2地区連合町内会）／柏葉町内会（第3地区連合町内会）／本牧大里町町内会（第5地区連合町内会）／パークシティ本牧自治会（新本牧地区連合町内会）……12

5.南　区

井土ヶ谷下町第二町内会（井土ヶ谷地区連合町内会）……13
睦町一丁目東町内会（堀ノ内睦町連合町内会）／永田町第一町内会（北永田地区連合町内会）／内手自治会（六ツ川地区連合自治会）／ヒルズ横浜南ガーデニア自治会（六ツ川地区連合自治会）／別所中里台町内会（別所地区連合町内会）……14

6.港南区

美晴台自治会（永野連合町内会）……15
南桜町内会（笹下連合町内会）／日野住宅地自治会（日野連合町内会）／野村港南台自治会（日野南連合自治会）／シュール東永谷自治会……16

7.保土ケ谷区

くぬぎ台団地自治会（川島原地区連合会）……17
桜ヶ丘東部自治会（保土ケ谷東部地区連合自治会）／法泉境木自治会（保土ケ谷西部連合自治会）／法泉自治会（保土ケ谷西部連合自治会）／峰岡町三丁目町内会（常盤台地区連合町内会）／坂本町内会（仏向地区連合町内会）……18

8.旭　区

若葉台連合自治会 ……19
白根東部町内会（白根地区町内会自治会連合会）／今宿地区町内会自治会連合会／中希望が丘富士見会（希望が丘連合自治会）／二俣川ニュータウン第二町内会（二俣川ニュータウン連合町内会）／市沢団地自治会（左近山連合自治会）……20

9.磯子区

洋光台北団地一街区自治会（洋光台連合自治町内会）…21
岡村東部自治会（滝頭地区連合町内会）／岡村西部第一自治会（岡村地区連合町内会）／室之木町内会（磯子地区連合町内会）／磯子センチュリー自治会（屏風ケ浦地区連合町内会）／杉田東部町内会（杉田地区連合町内会）／洋光台六丁目西自治会（洋光台連合自治町内会）……22

10.金沢区

夏山町内会（釜利谷地区連合町内会）……23
富岡桜ヶ丘町内会（富岡第三地区連合町内会）／能見台サウスヒル自治会（富岡西・能見台地区町内会長連合会）／六浦高宗台自治会（六浦西地区町内会連合会）……24

11.港北区

下田町自治会（日吉地区連合町内会）……25
サンヴァリエ日吉自治会（日吉地区連合町内会）／綱島東親和会（綱島地区連合自治会）／親交会（大曽根自治連合会）／錦が丘町内会（菊名地区連合町内会）／大豆戸町内会（菊名地区連合町内会）／太尾地区連合町会／篠原東第一自治会、篠原東第二自治会、篠原東第三自治会（篠原地区連合自治会）／城郷地区連合町内会／新吉田いつな町内会（新吉田あすなろ連合町内会）……26

12.緑　区

後谷自治会（新治西部地区連合自治会）……27
東本郷日鋼自治会（東本郷地区連合自治会）／東本郷ばらの会自治会（東本郷地区連合自治会）／鴨居第四地区自治会（鴨居連合自治会）／青砥町自治会（山下連合自治会）／御前田自治会（長津田自治連合会）…28

13.青葉区

藤が丘二丁目A自治会（谷本連合自治会）……29
桜台南自治会（青葉台連合自治会）／小田急学園奈良自治会（奈良町連合自治会）／新荏田第三自治会（新荏田連合自治会）／美しが丘東自治会(美しが丘連合自治会）……30

14.都筑区

牛久保東町内会（中川連合町内会）……31
東山田三丁目町内会（東山田連合町内会）／長坂町内会（都田連合町内会）／高山自治会（川和地区連合町内会）……32

15.戸塚区

大坂台町内会（戸塚第一地区連合町内会）……33
富士見町内会（北汲沢連合町内会）／秋葉町内会（川上地区連合町内会）／下倉田町内会（下倉田地区連合会）……34

16.栄　区

田谷町内会（豊田連合町内会）……35
笠間西南町内会（笠間連合町内会自治会）／公田町団地自治会（本郷中央連合町内会自治会）／上郷町内会（上郷東連合町会）……36

17.泉　区

下和泉住宅自治会（富士見が丘連合自治会）……37
緑園五丁目自治会（緑園連合自治会）／和泉栄町内会（和泉中央連合自治会）／和泉中村町内会（和泉中央連合自治会）／ひなた山第二自治会（上飯田連合自治会）……38

18.瀬谷区

瀬谷四丁目町内会（瀬谷第一地区連合町内会）……39
三ツ境グリーンハイム自治会（三ツ境連合自治会）／本郷第一自治会（本郷地区連合自治会）／干池自治会（南瀬谷自治連合会）……40

鶴見区・生麦第二地区連合会

「防災訪問」で火災件数が3分の1に減少

会長●牛頭（ごず）　春雄／設立●昭和45年／加入世帯●10,664

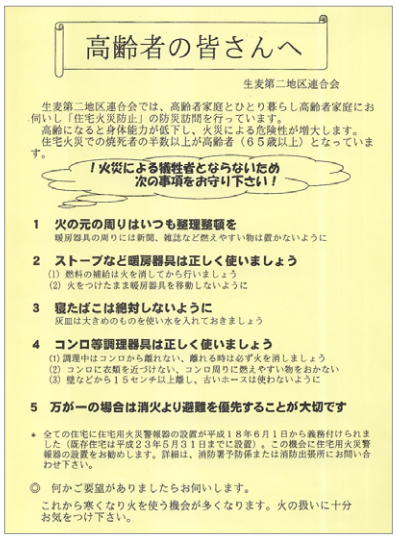
行事への参加者が多いのが自慢

5月に生麦第二地区連合会（13町会から構成）の「健民運動会」を開催。1町会100～150名、のべ2,500名もの参加があるんですよ。7月には「社会を明るくする運動」でパレードを行ない、東台、寺尾、岸谷小学校の鼓笛隊をはじめ、子どもさんや親御さんなど700名近くが参加してくれました。

秋の敬老会では1,000件を超す参加希望があり、踊りやら抽選会やらをやって楽しんでもらいました。欠席された方には役員が訪問し記念品を渡しています。年間を通じてたくさんの人の参加があるのが自慢ですね。

「防災訪問」でまち全体を安全に

地域では過去、住宅火災による高齢者の死傷が相次ぎました。そこで私の発案で高齢者のお宅を訪問する「防災訪問」を平成11年から始めました。毎年11～12月にかけて、各町内の婦人部や家庭防災員が77歳以上の高齢者のいるお宅を、民生委員がひとり暮らしの高齢者家庭を訪問して、「出火防止リーフレット」を持参して住宅火災の防止を呼びかけています。はじめのうちは防災用品の押し売りと勘違いされたこともありますが、今では訪問を楽しみに待ってくれている方がたくさんいます。平成12年には14件あった火災が、17年は5件、18年は3件（10月現在）と、火災件数は3分の1に減っており、成果は上々です。



高齢者の皆さんへ

生麦第二地区連合会

生麦第二地区連合会では、高齢者家庭とひとり暮らし高齢者家庭にお伺いし「住宅火災防止」の防災訪問を行っています。
高齢になると身体能力が低下し、火災による危険性が増大します。
住宅火災での焼死者の半数以上が高齢者（65歳以上）となっています。

！火災による犠牲者とならないため
次の事項をお守り下さい！

1　火の元の周りはいつも整理整頓を
暖房器具の周りには新聞、雑誌など燃えやすい物は置かないように

2　ストーブなど暖房器具は正しく使いましょう
(1) 燃料の補給は火を消してから行いましょう
(2) 火をつけたまま暖房器具を移動しないように

3　寝たばこは絶対しないように
灰皿は大きめのものを使い水を入れておきましょう

4　コンロ等調理器具は正しく使いましょう
(1) 調理中はコンロから離れない、離れる時は必ず火を消しましょう
(2) コンロに衣類を近づけない、コンロ周りに燃えやすい物をおかない
(3) 壁などから15センチ以上離し、古いホースは使わないように

5　万が一の場合は消火より避難を優先することが大切です

＊ 全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が平成18年6月1日から義務付けられました（既存住宅は平成23年5月31日までに設置）。この機会に住宅用火災警報器の設置をお勧めします。詳細は、消防署予防係または消防出張所にお問い合わせ下さい。

◎ 何かご要望がありましたらお伺いします。
これから寒くなり火を使う機会が多くなります。火の扱いに十分お気をつけ下さい。

訪問家庭からは「火器類を使用する時には声だし確認をしている」とか「ガスから電気に切り替えた」など、「防災意識が高まった」という感想をいただいています。また、これまで役員が会員のお宅を訪問することはありませんでしたが、「これをきっかけに顔見知りになれた」という良い副産物があったと思ってます。

防災訪問出陣式（平成18年11月4日）

地域防災のシンボル　放送塔

私が会長を務める岸谷第二自治会では昭和58年に、岸谷公園の中に災害時の避難情報などを流す高さ10メートルの放送塔を設置しました。普段は1日3回（7時、12時、16時）チャイムを鳴らす程度ですが、大雨や火災などの非常時には注意を呼びかける放送をしています。放送塔まで行かなくても私の家から直接放送することも可能です。

このページに関するお問合せ先●
鶴見区地域振興課（電話：045-510-1687）

●平安町町会●
活動をしっかりと会員に見せる

会長●河西　英彦／加入世帯●2,800

環境美化や福祉保健、防犯防災の充実など「安全・安心のまちづくり」が会員にみえることが大切だと思います。私たちの町内では防災訓練に350人、お祭りに4,000人、長寿を祝う会に200人、資源回収に1,200人、キッズルーム利用者は年3,000人と、実際に見て、聞いて、体験する会員がたくさんいます。

パソコン活用では定期総会、防犯防災研修会にパワーポイントを使っています。

●東寺尾第三自治会●
小学校の防犯・防災活動に参加

会長●今野　光夫／加入世帯●990

学校との連携で毎日、防犯活動を行っています。10月には寺尾小学校の防災キャンプ、防犯訓練に参加しました。定例会に事情で欠席した場合、役員が広報や回覧を班長宅に届けて自治会活動の情報を会員に知らせる工夫を重ねています。

●馬場町自治会●
「ミュージックフェスティバル」の実施

会長●塚田　康雄／加入世帯●1,350

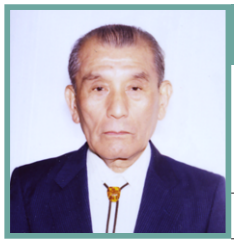
学校・地域の連携で毎年、自治会内の小・中・高の児童生徒の協力を得て、青少年のために「馬場ミュージックフェスティバル」を鶴見公会堂で実施し、とても評判がいいです。自治会館で行っている高齢者の給食会「ひごろも草の会」では、小学校の児童が訪問し、歌を歌うなど世代を超えた交流を行っています。毎年秋には、自治会独自に運動会も行っています。

●上末吉四丁目町会●
餅つきや三ツ池公園で健康ウォーキング

会長●渡辺　武／加入世帯●545

地元の人たちの憩いの場になっている三ツ池公園で健康ウォーキングを実施しています。子供会とは毎年年末に餅つき大会を行い、好評です。鶴見区社協が行うひとり暮らし高齢者への給食会には、各町会婦人部が順番で食事作りのボランティアとして参加しています。

このページに関するお問合せ先●
鶴見区地域振興課（電話：045-510-1687）



神奈川区・反町第一町内会

「福祉」をキーワードに団体や施設と連携

会長●加賀　一海／設立●昭和33年／加入世帯●770

施主と加入促進の協定締結

私どもの地域は8割方がマンションなどの集合住宅です。新築マンション建設時には、騒音やごみ、駐車・駐輪場などの問題がつきものですが、住民から苦情があった場合は町内会が間に入って解決するなど工事に協力しています。代わりに入居者や購入者に対し、必ず町内会へ加入し、地域の一員としてその運営に協力するよう説明してもらっています。このことについては施主と念書を交わし、確実に入居説明会などで実施してもらっています。

地域内にはワンルームマンションが増えており、残念なことに地域とのふれあいを求めない方もいますが、家族でお住まいの方は町内会の活動にも参加してくれています。

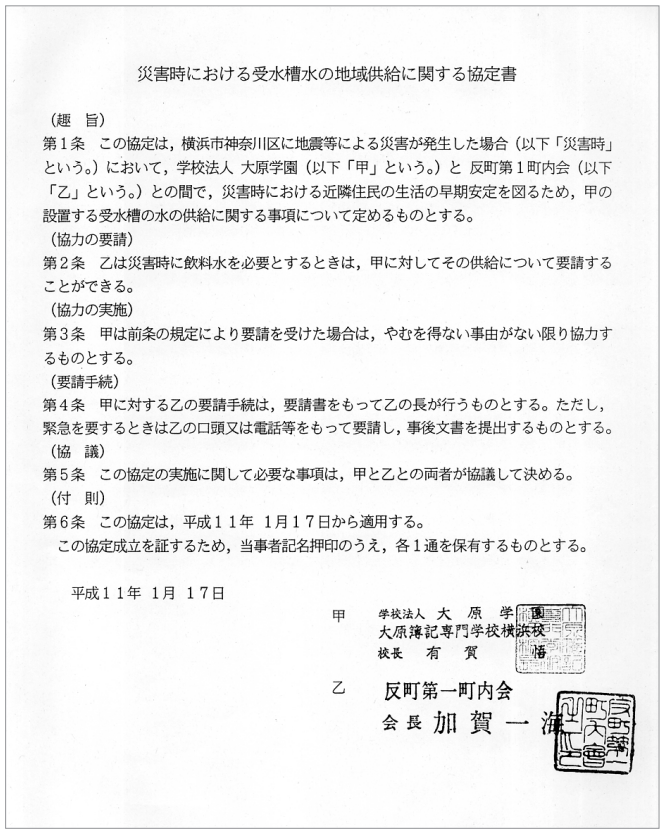
すべての人の顔が見えるまちに

町内には7つの福祉関連施設があり、多くの方が通所しています。町内会では旅行や盆踊り、祭礼、賀詞交歓会、防災訓練、新入学・卒業の歓送迎会、お年寄りへの記念品贈呈などさまざまな行事を実施していますが、中には施設に通う人たちも交えてにぎやかに行うものもあります。朝の挨拶に始まり、道で見かければ声をかける。誰からも住みよいまちと慕われ、喜ばれる、人の温かさにあふれ、このまちに関わるすべての人の顔が見えるまちにしたい。これが私たちの活動テーマです。

地域の学校や企業との災害時協力協定

横浜の場合、近年大きな災害にあっていないこともあってか、ご近所づき合いの大切さ、ありがたみが実感できていないように思います。町内会では災害が起きた場合に、罹災した方々に少しでもお手伝いやお見舞いができるようにと、日頃から何ができるか考えています。

その一つとして、区とも相談したうえで町内にある専門学校と災害時における協定を結んで、学校にある受水槽の水を飲料水として町内に供給していただく約束になっています。これは平成11年に取り交わしたものですが、今後は地元のスーパーと交渉して、災害時に食料品を供給していただくよう、協定を結びたいと考えています。



災害時における受水槽水の地域供給に関する協定書

（趣　旨）
第１条　この協定は，横浜市神奈川区に地震等による災害が発生した場合（以下「災害時」という。）において，学校法人 大原学園（以下「甲」という。）と 反町第１町内会（以下「乙」という。）との間で，災害時における近隣住民の生活の早期安定を図るため，甲の設置する受水槽の水の供給に関する事項について定めるものとする。
（協力の要請）
第２条　乙は災害時に飲料水を必要とするときは，甲に対してその供給について要請することができる。
（協力の実施）
第３条　甲は前条の規定により要請を受けた場合は，やむを得ない事由がない限り協力するものとする。
（要請手続）
第４条　甲に対する乙の要請手続は，要請書をもって乙の長が行うものとする。ただし，緊急を要するときは乙の口頭又は電話等をもって要請し，事後文書を提出するものとする。
（協　議）
第５条　この協定の実施に関して必要な事項は，甲と乙との両者が協議して決める。
（付　則）
第６条　この協定は，平成１１年 1月１７日から適用する。
この協定成立を証するため，当事者記名押印のうえ，各１通を保有するものとする。

平成１１年 1月 １７日

甲　学校法人 大 原 学 園
大原簿記専門学校横浜校
校長　有　賀　　悟

乙　反町第一町内会
会長 加 賀 一 海

このページに関するお問合せ先●
神奈川区地域振興課（電話：045-411-7086）

●子安通1丁目西浜町内会●

カラオケで町内の情報交換

会長●清水　関雄／加入世帯●205

高齢者の目立つ地域です。高齢者といっても元気な人が多くいます。10年以上続いているカラオケ同好会にはいつもたくさんの人がやってきます。自由参加ですが、集まりを楽しみにしている人はたくさんいます。集まって歌って、町内会の情報交換もしています。

●松見町3丁目町内会●

会費をランク分けして徴収

会長●堀江　芳雄／加入世帯●1,020

町内会費を借家人（150円）、戸建て世帯（200円）、商店（500円）や事業所などにランク分けして徴収をしています。町内会活動を理解して自発的に上乗せして払ってくれることもあります。「町内会ふれあいの日」（月一回の町内会館開放）には、ボランティアの協力でふれあいランチも行うようになりました。

●白幡西町自治会●

ミニコンサート、野外映画会が人気

会長●関口　芳郎／加入世帯●650

町の多くの人たちが気軽に参加する夏祭りや盆踊り、暮れの餅つき大会などが好評です。地域に住んでいる音楽家によるミニコンサートは、毎年、学校や教会を会場に続いています。野外映画大会も子どもたちの人気を集めています。

●三ツ沢上町町会●

「古紙部」が大活躍

会長●佐藤　恒雄／加入世帯●780

会員所有の車を持ち寄って組織された「古紙部」が月に一度、会員から出る古紙を回収→資源回収業者に直接持ち込む→一回あたりかなりの収入を得て財源に充てています。また、町会長のメールアドレスを公開し、会員からの要望、苦情を聞く手だてにしています。

このページに関するお問合せ先●
神奈川区地域振興課（電話：045-411-7086）

西区・東久保町東朋会

三町内会合同での祭りや防災対策が自慢

会長●和田　泰次／設立●昭和21年／加入世帯●470

三町内会が力を合わせて活動

戦災を免れた丘の上にある町内会で、単身高齢者などが年々目立ってきています。役員の年齢制限（80歳まで）を設けるなど、組織の活性化も常に考えるようにしています。平成18年の秋には、全世帯を対象に無記名方式のアンケート調査を行いました。会費、回覧板の利用状況、避難場所や防災倉庫などの災害時に関する質問等々多くの項目にわたって貴重な声を集めました。ぜひ今後の活動に役立てたいと思っています。

また、この地域は、昔から近隣の３つの町内会（東朋・東台・東睦）と一緒に活動をすることが多く、会館も三町内会合同で使っています。

手作り神輿と盆踊りのにぎわい

この町内の名物は、何と言っても来年で20年以上も続く夏祭りですね。これも三町内会合同で毎年8月の第一日曜に行っています。多くの人がやって来て本当ににぎやかですよ。神輿や山車は、5月頃から作り始めて本番に臨みます。平成18年には岩井原中学の生徒に盆踊りの運営を任せてみました。みんな一生懸命にやってくれて、学校からは「この体験が、学校の文化祭の準備をする上でも役立っている」という話を伺いました。町内会での経験が役に立ってうれしいですね。これからも学校・家庭・地域を一層密な関係にしていきたいと思います。

劇団「ひまなスターズ」結成

町内会の仲間で劇団「ひまなスターズ」を結成して、敬老会などで演芸を披露しています。町内会はいろいろな人材の宝庫ですから、絵の上手な人には、桜や松の絵を描いてもらって屏風絵にしています。舞台で「白波５人男」なんかを披露すると、皆がげらげら笑ってくれて、楽しいですよ。山村留学で山形県南陽市の小滝村の小学児童やその親、担当者32名がやって来たときも、歓迎の気持ちを込めて舞台に上がりました。町内会活動は、小さなことでも自ら楽しんでやることが大事だし、それが続けられるコツじゃないですかね。

「ひまなスターズ」白波五人男の艶姿

夢まちづくり協議会

このまちは、狭隘・坂道が多く、防災上危険区域に指定されたことをうけて、平成15年から三町内会合同で防災のまちづくりのための勉強会を始めました。平成17年には「東久保町夢まちづくり協議会」を設立し、この程横浜市から「地域まちづくり組織」として認定されました。道路整備などを中心に取組んでいますが、その財源は、月1回会館で開く朝市の売上げなどを充てています。朝市での野菜や果物（夢やさい）の販売は、会館の外に列ができるほど好評です。高齢者の方には「重いものが近くで買えて助かっている」と喜ばれています。安全で安心できる住み良いまちづくりを、夢を込めて進めていきたいと思います。

このページに関するお問合せ先●
西区地域振興課（電話：045-320-8389）

●戸部四共睦会●
ゴミ減量と財源確保の一石二鳥

会長●河原　弘尚／加入世帯●420

資源回収を見直し、週に一回、回収に来てくれる業者に変更しました。会員宅から出る新聞紙などを積み込み、回収してくれるので手間が省けます。一般ゴミとして出していた新聞紙などが大量に回収されるようになり、奨励金の還付が大幅に増えました。

●杉山町四丁目町内会●
「ちびっ子路上安全教室」を開催

会長●金子　博／加入世帯●270

毎年4月の第2日曜日に、新入学児童と保護者を対象として「ちびっ子路上安全教室」を開催しています。戸部警察署の協力を得て、実際に通学路を歩き、危険な箇所、注意が必要なことを理解してもらっています。

●東久保町東台会●
「花のある暮らし」が広がっています

会長●棚橋　ヨシ／加入世帯●525

東台会の有志による華道教室は、30年以上続く私たちの町会を代表する活動です。参加者は花を用意するだけ、先生への謝金はかかりません。花を生けながらのおしゃべりも楽しんでいます。暮らしの中に花があるのはいいものです。それぞれのご家庭に花の美しさがあふれる様子を思い浮かべるとうれしくなります。

3町会（東台・東朋・東睦）合同の夢まちづくり朝穫り果実野菜販売を、毎月第三日曜に実施、3町内会の住民の交流の場にもなっています。

●羽沢西部自治会●
にぎやかな祭り、交流サロン

会長●米岡　美智枝／加入世帯●600

町内で行う祭りには、地域作業所やボランティアグループの出店をお願いしています。毎週木曜日は、老人会とのタイアップで交流サロンを行っています（自治会館）。また、「一本松まちづくり協議会」を通じていえ・みち・まち改善事業にも取り組んでいます。

●岡野二丁目町内会●
町内会の活動をギャラリーで紹介

会長●後藤　洋一／加入世帯●731

地域の方々がよく利用する岡野集会所にギャラリーを設置し、まつり、餅つきなど町内会の行事や元気会（老人会）で管理している花壇の花などの写真を掲出し、町内会の活動を紹介しています。また、隔年で、町内会の方々の書画や写真、手芸品をはじめとした創作物の作品展を開催し、好評を得ています。

●軽井沢自治会●
大規模自治会ゆえに細かな配慮

会長●高橋　治男／加入世帯●2,450

3町にわたる西区で一番大きな規模の団体なので、会員の満足度を高めるうえで基本となる行事など各種のお知らせには気を遣います。回覧板や掲示板を利用するほか、重要なお知らせは広報紙と一緒に各戸配布することもあります。また、会館にも恵まれていますので「いこい会」（老人会）の活動をはじめ、会員の様々な活動の場として利用され、連日賑わっています。

このページに関するお問合せ先●
西区地域振興課（電話：045-320-8389）

中区・本牧二丁目北部町内会

子育てサロンが大好評。周辺町会も開催へ

会長●森田　修司／設立●昭和33年／加入世帯●710

一番の加入促進策は訪問勧誘

転入者宅には、班長が「町内会への加入のお願い」を持って訪問し、町内会活動を説明して加入を勧めています。1回では無理な場合などには役員も一緒になって訪問勧誘をしています。やはり、対面しながら町内会への加入の必要性を呼びかけることが重要ですね。

内容充実の会報と声かけが参加促進の鍵

町内会報『二北町だより』へは、行事予定を中心としたお知らせを盛り込むとともに、町内会活動への理解と協力も呼びかけています。会報発行の前後には各役員が顔見知りの人に出会うたびに「こんなにいい行事があるんですよ」と声をかけ、参加を促しています。誰もが「自分たちのまちだから、なんらかの町内会活動に参加したり、多少は運営を担ってもいいかな。」と思っているようです。ちょっと声をかけて、背中を押してあげることが大事なんですね。

思い出に残る行事とタイムリーな行事

会員創作の絵画や陶芸、写真などの作品（未発表）を集めた文化作品展は4回目になり、年々内容も充実しています。発表の場って本当に大事ですね。また、夏の縁日開催や新春の餅つき大会などは、子どもと高齢者の交流にもなり、いい思い出づくりとなっています。町内のヨガ教師の協力で開催する健康体操は、健康志向ブームを反映してか大好評。口コミで男性の参加が目立ってきました。

力作が並んだ文化作品展
（平成18年11月4日）

会館利用した子育てサロンは元祖かな

民生児童委員と福祉部で子育てサロン「親子の広場PAO PAO」を運営しています（毎週水曜午前10時～正午）。4年ほど前、赤ちゃん教室に集まったお母さんたちが、教室が終了したあとも立ち話をして情報交換している姿を見て、気軽に集まれる場所をと考えて始めました。会館が育児初心者や若いお母さんたちの頼もしい拠点となっています。最初の頃は、他の町内から通っている人もいましたが、ここの良さが伝わってか、今では他の町内会でも開催が増えています。

子育てサロン「親子の広場 PAO PAO」

手作りで情報満載、町内会報『二北町だより』

このページに関するお問合せ先●
中区地域振興課（電話：045-224-8131）

●花咲町2丁目町内会●
野毛大道芸に町内会として参加

会長●野口　陽一／加入世帯●246

野毛の恒例イベントになった「野毛大道芸」に町内会として参加しています。他の町内からも参加者があり、交流に役立っています。会員の集まる行事を開催するつど、町内会活動のアピールと情報交換を行なっています。

●初黄町内会●
地域活性化をテーマに協働活動

会長●成岡　定敏／加入世帯●420

大岡川沿いの15以上の町内会、商店街との協働活動を通じて京浜急行高架下の利用計画や、環境浄化活動により空洞化したまちの再生に取り組んでいます。

●伊勢佐木町3丁目共栄会●
「ザキ」の活性化に協力

会長●牛山　裕子／加入世帯●65

伊勢佐木町1・2丁目商店街の人たちとイベントや奉仕活動で協力をしています。また、大道芸 in イセザキ、横濱ジャズプロムナードにも参加し、商店街「イセザキ」の活性化に尽力しています。

●山吹町、富士見町、長者町3・4連合町内会●
創立記念式典でコミュニティ意識高揚

会長●増尾　俊一／加入世帯●555

創立50周年を機に盛大に記念式典を行ないました。全国的に有名なマーチングバンドの生出演や福引大会等イベントを工夫し、加入世帯の家族全員が楽しめるように、また、町内に住んでいても町内会の存在すら知らない方々にもPRし、新規会員の加入促進につながるよう働きかけました。

●新山下1丁目自治会●
独自の加入案内で加入促進
夜間パトロールでコミュニケーション

会長●程島　正雄／加入世帯●910

マンションについては管理会社に独自で作成した自治会町内会への加入案内を提示して説明し効を奏しています。夜間防犯パトロール終了後の自治会館でのお茶飲みはコミュニケーションする上でも重要です。

●柏葉町内会●
健康づくり教室や作品展、
ふれあいサロンが好評

会長●山崎　勝弘／加入世帯●680

ウォーキング等の健康づくり教室や隔年で開催する作品展が好評です。また、高齢者を対象にした会食会とふれあい広場（サロン）を毎週開催しています。子供会も活発に活動し多くのイベントを行い楽しまれています。

●本牧大里町町内会●
町内住民こぞって参加する働きかけ

会長●神定　功／加入世帯●850

もちつき大会や縁日、地区連運動会等、子どもからお年寄りまで町内住民がこぞって参加できるよう創意工夫し運動会の成績も毎年上位です。また、防災訓練も毎回100～200名が参加しています。全世帯の加入状況調査を実施し、「未加入0」を目指したプロジェクトチームを立ち上げ、班長総動員の加入促進活動を行なっています。

●パークシティ本牧自治会●
楽しいイベントを積極的に

会長●林　正雄／加入世帯●570

連合町内会と協力して地域をコースにしたウォークラリーなどのイベントを開催しています。バザーや夏祭り、運動会、餅つきやコンサートなど自治会の中でもイベントを定期的に行っています。

このページに関するお問合せ先●
中区地域振興課（電話：045-224-8131）

南区・井土ヶ谷下町第二町内会

内容充実のホームページを毎日更新

会長●二本木　正雄／設立●昭和26年／加入世帯●410

ホームページ作成の励みは会員の反響

4年ほど前、会計も担当する副会長の肥田さんから「会社のホームページを作ってみたんだが、町会でも作ってみようか」と相談を受け、二つ返事で「大いに結構！」と答えたところ、サササーッと作成。副会長も忙しい人なので、完成後一時中断したんですが、周りから再開を望む声が大きくなって再開。

今では、更新するたびに会員の反響が大きく、それを励みにほぼ毎日更新しているんですよ。ここのホームページは町内会自慢の一つですね。

行事翌日には動画入りで紹介

地区連合の運動会の模様が、翌日の月曜日にはホームページに動画入りで載って、その上、たくさんの写真も運動会の楽しさをたっぷり伝えます。翌日には紹介されるんだから、会員はみんな楽しみにしていますよ。「写真見た？」「見たよ。写っていたね、いい顔してたね」と話題になり、会員同士の絆づくりに大いに役立っています。ホームページの良さって旬な情報をすぐ会員に流せることですね。

肥田副会長が制作・更新するホームページ（トップ画面）

http://www5b.biglobe.ne.jp/~h-hida/sub20.html

レンズを通してみる笑顔も励みに

ホームページ作成は副会長が一人でやっているんですよ。どの行事にもカメラ片手で参加。大忙しですが、レンズを向けるとほとんどの人が協力的で、参加者の満足な笑顔を見ると、疲れも忘れるほどだそうです。もちろん、撮るときは相手に撮影の了解をとったり、ホームページで紹介することを説明しているのでトラブルにもなりません。

まちの良さが若い人に届けば嬉しい

ホームページを見る機会は若い人の方が多いでしょう。町内の若い人に自分たちのまちのことをホームページで知ってもらえれば、親しみもわき、行事にも参加したくなるんじゃないかなと期待しています。就職等でまちから転出した人からも「楽しみにしています」との連絡があるんですよね。また、このまちに戻ってきてくれるんじゃないかなと思っています。

ホームページを見たくて私もパソコンを買いました。今では、役員同士の連絡はEメールです。記録に残るし、一度にみんなに送れるなど、パソコンとホームページは町内会運営の必需品ですね。

肥田副会長

このページに関するお問合せ先●
南区地域振興課（電話：045-743-8192）

●睦町一丁目東町内会●
文化作品展、公園イベントが好評

会長●五味　博信／加入世帯●370

町内会員の文化作品展を町内会館で開催し、書、画、彫刻、手芸、写真等が150点くらい出品されました。会期中は130名くらいの町民のみなさんに入場していただき、大好評でした。

また、公園を会場にした秋の草花鑑賞会では、おでん、やきとりの出店、ボランティアによる音楽会などが好評でした。

●永田町第一町内会●
アパート、駐車場の会費徴収を工夫

会長●谷山　三晴／加入世帯●410

町内会の収入増や加入率アップへの取組として、アパート経営者の方には戸数に応じた会費を家賃に加算しご負担いただいています。

また、町内で５台以上の駐車スペースを保有する駐車場を経営している方には防犯灯の維持管理費をご支援いただくという趣旨をご説明し、会費をご負担いただくようお願いしています。

●内手自治会●
地権者に、手紙で町内会費の送金を依頼

会長●北島　英男／加入世帯●179

自治会の収入を増やすための取組としては、町内にある空地対策として、土地の所有者に直接手紙を送って自治会費をご送金いただけるようお願いしています。

手紙には、なぜ自治会費が必要なのかという理由、例えば防犯や防災のための管理などを町内会が行っていることを説明し、自治会費を送金していただけるよう依頼しました。会費は通常月額の3分の2にしたところほとんどの所有者から送金していただくことができています。

●ヒルズ横浜南ガーデニア自治会●
写真入りの行事報告が好評

会長●小寺　あかね／加入世帯●128

行事等の実施をお知らせするために、ポスターや回覧物を利用することは従来から行っていましたが、事前のお知らせだけで終わっていました。

そこで、前年度より、防災訓練やソフトボール大会等についての事後報告を開始し、参加人数や活動の様子などについて、文章だけでなく写真を入れて報告するようにしたところ、自治会員のみなさんに好評でした。

●別所中里台町内会●
地域との連携・協働・対話

会長●轟　悟／加入世帯●490

地区の社会福祉協議会や町内会のボランティアと協力し、一人住まいの高齢者を対象とした食事会を隔月で開催しています。学校と地域の協働作業として、平成17年は別所小学校のトイレの壁画制作を行いました。今後は中学校と長期的な連携を組むべく、検討中です。

会員の満足度を高めるために工夫した取組で評判の良かったものはつぎの通りです。

○町内各部の部長、班長、子供会、老人会、家庭防災員と町内会との懇談会などを開催し、意見や要望を町内会運営に反映させた

○防犯パトロール時に手作りの「安全確認票」や「防犯に関するニュース・注意事項」を配布

○広報部を設け、町内会の出来事や身近な話題を満載した町内新聞をリニューアルした(愛称募集中)

○敬老の日のお祝いを、手作りのメッセージカードと子供会協力による子供自作カードを付け、会長と子供会代表などが個別に訪問して会話をしながら手渡しをした

このページに関するお問合せ先●
南区地域振興課（電話：045-743-8192）

港南区・美晴台自治会

ごみ箱のない自治会館と綺麗な町が自慢

会長●角館（かくだて）　友弘／設立●昭和38年／加入世帯●670

加入率は90％以上

組長（30-40世帯を担当）の協力を得て、自治会加入・未加入世帯がわかる地図を作成。その地図をもとに私と副会長、役員などが未加入者宅をこまめに訪問し、自治会の現状や必要性などを説明しています。

また、退会者からも活動を続けられない理由やこれからの自治会に望むことなどを聞いて、今後の運営の参考にするとともに、ながい目で見守りながら自治会への復帰も勧めています。

加入増を図るのに王道はないですね。地道な活動をこつこつ続けていることが、高い加入率につながっているのでしょうね。

未加入者へも地域の仲間として声かけ

ここでは、未加入の方でも気軽に参加できる行事をたくさん開催しています。組対抗のカラオケ大会とか、家周辺の草むしり、自治会大掃除の日などを設定し、会員相互ではもちろん、未加入の方へも地域の仲間として積極的に声をかけています。「自分たちの街だし、安心で快適に暮らして行くには、あなたも含めみんなの協力が必要なんですよ」というメッセージを込めています。

子どもの安全見守りは地域の役目

地域には元気なお年寄りがいっぱいです。高齢化というとマイナスイメージを抱く人が多いと思いますが、逆だと思っています。それだけ地域には、子どもの安全見守り役など活躍いただける人材が豊富なんだとプラス思考で考えています。

町内のお年寄りに「庭掃除のついでに街路に出て、登下校の子どもを見守って」とお願いしたところ、実に多くの方が参加。防犯パトロールには夫婦で参加される姿も珍しくないですね。無理のない活動頻度とゾーンを組毎に定めて、実施日や参加人数は組に任せています。組の自主運営により会員に責任が生まれ、同時に組の一体感も生まれています。

自慢なのは、ごみ箱のない自治会館

建ってから20年近くになる自治会館ですがとても綺麗です。自慢は、館内にごみ箱が一つもないことかな。5年前に町会総意で自主ルールを作り、利用者は全員レジ袋やビニール袋持参で活動や集会で出たゴミは持ち帰ります。また、館内は全面禁煙。自分たちの町は自分たちの手での精神がここで養われ、町全体の綺麗さにつながっています。

外観にも清潔感がただよう自治会館

町内に住む師範を先生とする書道教室

このページに関するお問合せ先●
港南区地域振興課（電話：045-847-8391）

●南桜町内会●
模擬店売上げを活動財源に

会長●佐藤　昇／加入世帯●380

さくら祭りや連合町内会ふるさと祭り、盆踊りなどの行事に町会として模擬店を出し、その売上げを活動財源に充てています。

「つくしんぼの会」（有志によるボランティア団体）が高齢者宅の除草、犬の散歩、買い物などの手伝いをしたり、夫婦で仕事をしている家庭のお子さんを一時的に預かったりしています。また、年3回発行の町内会報は読みやすさを考えて編集しています。投稿欄がとても人気があります。

●日野住宅地自治会●
日ごろからの環境作りが効果に表れる

会長●長　信男／加入世帯●596

高齢者を対象に、地域ケアプラザや医院・薬局のご協力を得て毎月、軽体操やハンドベル、ぬり絵、折り紙などを楽しむ「クローバーの集い」を持ち、健康講演会、薬膳の会、寄せ植えの会も毎年一回開催して大盛況です。行事を通じて防犯・防災時に支援が必要な方々も把握できます。個別にはゴミ出しなどのほか、庭の手入れや降雪時の除雪を手伝って好評です。全体行事では、子ども会との夏祭りや文化祭（作品展、芋煮会との併催）が中心です。

公園や県道の清掃には老人会や保育園の先生方も積極的に参加してくださいます。下校時と夜のパトロールは大勢の参加者に支えられ、グループホームの方々も常連です。全戸に防犯腕章を配り、買い物や散歩時に着用、不審者などの通報・周知も迅速です。自製の「防災の手引き」（A4判2ページ・防水仕上げ保存版）も全戸に配られています。26年目の資源集団回収は平成18年から毎週の実施となり、ネットボックスの普及でゴミの散乱もなく、交通標識の整備も進みました。安全・安心・清潔な住環境を、みんなの手でつくりあげています。

なお、活動の指標となる予算管理は、月次監査が行われ、四半期ごとに役員会に報告されます。

●野村港南台自治会●
防犯意識の向上と同好会活動

会長●杭瀬　光雄／加入世帯●790

ボランティアグループ「みちの会」が毎日夕方と夜間に防犯パトロールを行っています。また、港南警察の警察官が立ち寄る日野南安全安心ステーションを活用して犯罪情報の収集と発信、掲示を行って住民の防犯意識を高め、犯罪抑止効果の高まりを図っています。

定年後の男性も増え、文化的・健康的な集まりが多くなり、自治会館を活動場所に60を超える同好会が活発に活動していますので、会館は連日盛況です。

自治会情報は下記アドレスで見ることができます。

http://www10.plala.or.jp/hinosouth/

●シュール東永谷自治会●
管理組合から コミュニティ形成業務などを受託

会長●市原　實／加入世帯●42

マンション管理組合から防災防犯、コミュニティ形成業務などを受託し、その費用を自治会活動に充てています。自治会役員の半数＝4人はその期の管理組合理事などで、自治会と管理組合はマンションの共同生活を管理運営していく、いわば車の両輪です。両者が協力しながら住み良いマンションをつくりあげていく関係にあり、一体的な運営と活動をしています。マンション管理の効率化（自治会会計ソフトの作成）を図り、今後は住民への福利厚生も充実させていきたいと思います。

このページに関するお問合せ先●
港南区地域振興課（電話：045-847-8391）

保土ケ谷区・くぬぎ台団地自治会

他にはない創意工夫で安心なまちづくり

会長●鈴木　方規／設立●昭和47年／加入世帯●800

11月～3月は加入促進強化月間

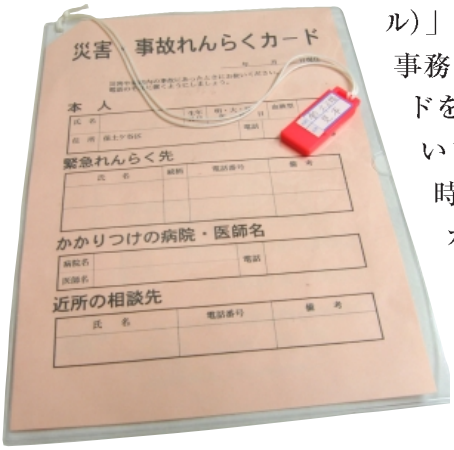
加入促進としては、管理事務所に加入手続き一式を置いて、転入者が入居時の鍵を取りに来たときに一緒に渡してもらっています。また、11月～3月を「加入促進強化月間」にして、階段幹事が団地に越してきて日の浅い世帯を中心に戸別訪問をしています。引っ越してきてからその地域の様子がわかるのは大体2年ぐらいかかると感じていますので、その辺が加入しどきじゃないかな、と時機を逃さないようにしています。

共同購入で加入メリットをアピール

住宅内の畳やふすま、エアコン・レンジフードクリーニング、網戸、浴室、トイレの清掃などを共同購入方式で比較的安価で斡旋しています。自治会に入っていることが共同購入利用の条件にして、自治会加入のメリットの一つだと訴えるようにしています。共同購入時の手数料収入は、自治会活動の財源に充てています。

れんらくカードと命の笛が安心感を

平成16年から防災訪問を行っています。70歳以上の高齢者のいるお宅を訪問し、「災害・事故れんらくカード」を作っています。緊急連絡先などを聞取り調査の上、カードに記入し、「命の笛（ホイッスル）」を付けて渡します。事務局でも1枚1枚カードを封印して保存しています。「いざという時は、事務局がこのカードを見てくれる」という安心感をまず持ってもらうことが大事だと思います。



高齢者交流サロンで住民同士のふれあい

今年（平成18）の夏は「復活七夕飾り」と称して高齢者と子どもたちの交流として行いました。高齢者の飾りづくりに小学生が見とれる、といった光景も見られました。単身高齢者が増えているため、参加しやすい集まりを多く実施して外出や交流の機会を増やすようにしています。高齢者同士ばかりでなく、子育て中の人たちとの交流も目的です。

高齢者と子ども、自治会スタッフが一緒になって七夕飾りを作った

近隣店舗と「防災協定」を締結

近所にあるスーパーや薬局、電気店と防災協定書を交わしています。災害時、自治会の積立金をもとに優先的に必要物資を回してもらう、という内容の協定で、毎年更新時に協定書の相手方とお互いに店頭にある商品と自治会の積立金を確認しています。大地震などの被災時には「3分・3時間・3日」で何ができるかが大事です。会員と合意形成をすすめながら自治会として何ができるか、自ら考え育っていく自治会にしたい、とつねに考えています。

このページに関するお問合せ先●
保土ケ谷区地域振興課（電話：045-334-6302）

●桜ヶ丘東部自治会●
恒例行事になった「学園通りコンサート」

会長●土谷　稔明／加入世帯●523

8年前、地域の小・中学校、高校との交流から生まれた「学園通りコンサート」は年に2回開かれ、毎回800人前後の参加者でにぎわう恒例行事に育ちました。秋祭りでは、自治会主催の夜店を中学生と先生が手伝いに参加し、まちの人たちとの交流を深めています。

●法泉境木自治会●
ヘルスメイト経験者が活躍

会長●金子　晃／加入世帯●572

自治会主催のひとり暮らし高齢者昼食会（対象は満70歳以上）は、食材の仕入れから調理、カロリー計算など細かな点にわたってヘルスメイトとして活躍した経験のある方が担当してくださいます。旬の食材を実施日の前日に揃え、おいしく召し上がっていただく工夫が伝わっているのでしょう、参加する高齢者にとても喜ばれています。

●法泉自治会●
会社とタイアップして配食サービス

会長●薩澤　志万子／加入世帯●980

高齢者のみなさんへの配食と容器の回収を、地域の会社と連携して実施しています。換気扇、お風呂場、庭の草取りなど家の内外をきれいにするのは、高齢者には大変なこと。こうした要望にも地域で活躍し、信頼できる会社とタイアップしてサービスの提供に努めています。

●峰岡町三丁目町内会●
学生ボランティアと協力して

会長●小金井　庫雄／加入世帯●650

横浜国大の学生ボランティアグループと提携して、祭礼行事を一緒に運営しています。今後は祭礼以外のあらゆる行事に参加してもらえるよう努力し、連携を深めていく計画です。

これまで業者に売却を委託していたアルミ缶を、町内会で直接回収、売却することで財源確保につなげています。

●坂本町内会●
対面訪問から缶募金へ

会長●岩本　市郎／加入世帯●690

日赤の募金や共同募金などを集めるために「募金缶」を使うようにしてから、評判がいいです。募金を入れていただく缶を回覧板とともに回します。回収した缶を会計部が開けて集計します。それまでの対面訪問募金では、募金の趣旨説明などに時間がかかりましたが、缶にしてからは効率がよくなりました。

このページに関するお問合せ先●
保土ケ谷区地域振興課（電話：045-334-6302）

旭区・若葉台連合自治会

みんなの合言葉は「生きる歓びをわがまちに」

会長●山岸　弘樹／設立●昭和60年／加入世帯●5,612

スポーツ・文化村構想でさらに連帯感が

旭区若葉台。なだらかな丘陵地を切り開いて、80棟近い高層集合住宅が建ち並ぶ、全国でも珍しい団地です。昭和50年代半ばから10年あまりにわたって入居が続きましたが、実はまだ開発途上です。若葉台連合自治会は、10の単位自治会で構成されています。地域住民が一体感をもてるよう「顔見知りの輪を広げる」ために、スポーツや文化活動に力を入れてきました。スローガンは「生きる歓びをわがまちに」。地域では、200を超えるサークルが活発に活動しています。その活動母体となる組織が、連合自治会と同時期に 設立された「若葉台スポーツ・文化村」です。「村」という名称には「ふるさと」の意味が込められています。

時代を見据えた新しいまちづくり

若葉台には小・中学校合わせて5校ありますが、子どもが極端に少なくなったことで学校再編を余儀なくされ、この4月からは小学校1校、中学校1校となります。閉校となる3校の活用問題が、これからのまちづくりの最大課題です。その構想づくりに向けて、大きな視野で団地を挙げた論議が始まろうとしています。

連合自治会の、時代を見据えた取り組みが地域住民の自治会への求心力を高め、単位自治会との相互の連帯の絆を強めています。

コミュニティ新聞　みんなの若葉台

大きな団地ですから、「情報の共有化」をとりわけ重視しています。その活動の一つに、連合自治会が発行する機関紙「みんなの若葉台」（タブロイド判4ページ7,300部、月刊・毎月1日発行）があります。20年以上の実績があり、250号を超えました。

この新聞を読めば自治会やスポーツ・文化村、サークルの動き、地域の行事予定、当面するまちの課題などが一目で分かります。行政へのアピールにも、大きな役割を果たしています。新聞で取り上げた課題はすべて実行に移されていますので、まちづくりの目標がみんなの目に見えている感じです。

みんなの若葉台

10自治会集まればパワーは100倍

第24回若葉台大運動会

新通学路案まとまる

歩行者専用道路を中心に

2カ所の横断歩道設置を要望

医療救護訓練も含め

3拠点で合同防災訓練

外来担当医師一覧表

横浜旭中央総合病院 ☎921-6111

このページに関するお問合せ先●
旭区地域振興課（電話：045-954-6091）

●白根東部町内会●
特別会員としての登録・会費徴収

会長●阿内　基久男／加入世帯●151

地域内の企業、団体、商店に「特別会員」となっていただいています。会員優遇策として納涼祭への無料出店、提灯などへの広告無料掲載などを実施します。

毎月の防犯パトロールに加え、特に年末は特別夜警パトロールを多くの参加者を得て、30年来続けています。

●今宿地区町内会自治会連合会●
高齢者、子どもも参加の防災訓練

会長●長谷川　謙治／加入世帯●4,659

高齢者、小・中学生にも参加をお願いし、防災訓練を行います。ビニールパックに水を入れて消火活動に生かすなどの体験から防災意識が高まっていくと思います。下校時の見守りはPTA、老人会の協力をいただいて実施しています。

●中希望が丘富士見会●
安全パトロールにペットが活躍

会長●藤沖　隆／加入世帯●625

「ワンワンパトロール隊」は地域の人たちが飼っている犬と飼い主とが一緒にパトロールをするものです。犬の血縁関係で「隊員」が拡大しています。住民宅の電球交換や門灯修理、草刈り、植木の剪定や小さなお子さんの一時預かりといったボランティア活動も喜ばれています。みんなで助け合う町内会です。

●二俣川ニュータウン第二町内会●
防犯の「黄色いジャンパー」

会長●森安　圭子／加入世帯●380

この地域のシンボルは「黄色いジャンパー」です。防犯活動のために用意したもので、会員に配り、散歩の折など着用をお願いしています。ジャンパーのおかげで互いに声をかけ合うようになり、防犯効果はもちろん、町内に活気が出てきました。

●市沢団地自治会●
散歩しながら防犯アピール

会長●山根　薫／加入世帯●374

会員の中から希望者を募り、防犯腕章などの防犯表示グッズを散歩や買い物の折りに身に付けていただく活動が定着（現在は約60人）しています。年に一回、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の団員をお招きし、近くの日産教育センターをお借りしてミニコンサートを開催。18年度も200人の音楽愛好者が耳を傾けました。

このページに関するお問合せ先●
旭区地域振興課（電話：045-954-6091）

磯子区・洋光台北団地一街区自治会

会員満足度を高めることが加入増に重要

会長●三上　勇夫／設立●昭和46年／加入世帯●630

住民の生活相談や支援機関としての役割

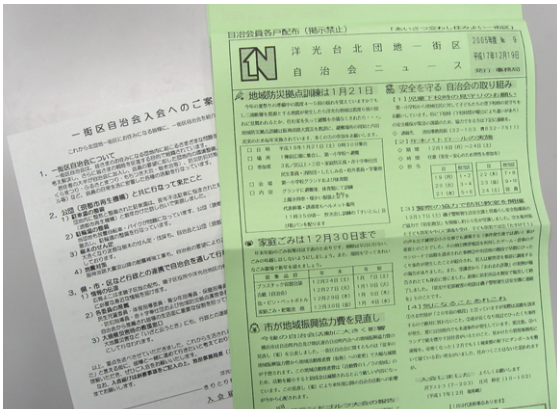
転出転入が多いことなど、UR都市機構（旧 住宅都市整備公団）の賃貸住宅に暮らす人たちにとって、自治会がその存在意義をアピールするにはどうしたらいいのか？　こうしたテーマを掲げて平成14年に基本問題検討委員会を設け、自治会の活性化を議論。全世帯アンケートも実施し、加入者の減少対策を模索しました。

その結果、葬儀時などの相談や業者あっせん、サークル活動支援などを始めました。また、負担軽減を図る上で毎月の定例会を隔月開催にしたり、不評だった広報配布担当を自治会内から有料ボランティアとして公募するなど工夫した結果、少しずつ加入増の効果が表れています。

充実した自治会ニュースが加入メリット

毎年6月、未加入世帯の郵便受けに「入会のすすめ」と「自治会ニュース（B4判、月刊）」を入れ自治会活動への理解と参加を求めます（入居時配布はUR管理事務所へ依頼）。

「自治会ニュース」は広報区版や市連会・区連会の内容を独自に短めに編集し、一目で分かるように工夫しています。また、このまちでの暮らしに役立つ情報も紹介しています。なお、加入者のみに配布されているニュースである旨も付け加え、加入のメリットを感じてもらうように工夫しています。



役に立つ情報を編集した『自治会ニュース』

毎朝の防犯パトロールは一番の交流の場

毎朝6時半過ぎ頃から、団地の広場に三々五々人が集まり、みんなでラジオ体操。その後、町内をパトロール。「一街区さわやかパトロール隊」といって、結構長く続いています。見回りが済むと駅前の防犯活動本部（民間交番）に立ち寄り、周辺の清掃をします。そして、近くにある交番に寄って犯罪発生件数などを調べます。

空き巣被害の多い時期がありましたが、毎日の防犯パトロールで件数は大幅に減少しました。いつも住民の目が届いていることをアピールし続けることが犯罪抑制につながるんでしょうね。

毎日続けて効果が上がっている防犯パトロール

綺麗なまち＝犯罪のないまちにつながる

活動の実感として、綺麗なまちにすれば犯罪発生は少なくなると感じていますね。ゴミ収集場所の整理、清掃とか、掲示物のこまめな張替なども、自治会活動が活発な地域であることのサインとなり、犯罪抑制に効果的です。綺麗で管理などが行き届いたまちは、結局、人の目が常に注がれているまち、という印象を与えるためだと思います。

このページに関するお問合せ先●
磯子区地域振興課（電話：045-750-2391）

●岡村東部自治会●
地域の皆さんの協力を得ながら

会長●萩原　亮吉／加入世帯●1,150

歳末警戒のほか、必要に応じ防犯パトロールを消防団・子供会の協力を得て実施しています。また、老人会は外出時の防犯カード携行、自転車や買い物かごに防犯ステッカーを付けるなどPRしています。

祭礼の神輿・山車の渡御、模擬店・盆踊りや餅つき大会、日帰り旅行、各種講習会、地域清掃、防災訓練など多面にわたり地域の皆さんの協力を得ながら活動しています。

●岡村西部第一自治会●
夏休みの「愛のパトロール」

会長●三澤　繁次／加入世帯●930

自治会役員、学校とPTAなどの協力を得て夏休みの土曜日、夜間のパトロールを実施（20：30～）しています。夏祭りや健民祭では地域の中学校、高校にお願いして生徒のボランティアを募り協力をしていただきます。中学校と自治会で年に2回、合同で通学路の清掃も行っています。

●室之木町内会●
「地域通貨」を積極的に利用

会長●中村　順一／加入世帯●519

地元の商店街が発行している地域通貨を、町内会の行事でも使えるように実施計画を立て、可能な部分から実施に移していきます。未加入世帯へは、災害時の相互協力の必要性を重点に説明し、理解をいただいて加入を促していきます。

●磯子センチュリー自治会●
自治会パソコンで年賀状印刷

会長●齊藤　陸男／加入世帯●370

自治会主催のパソコン教室を開いています。年末には年賀状の印刷などのサービスを行います。

多くの人が参加する行事を撮影した写真は、写っている方を中心に無料で配ります。自治会活動への日ごろの協力に対するお礼の意味を込めています。また、納涼祭や餅つき大会、フリーマーケットなどを積極的に実施しています。

●杉田東部町内会●
太極拳教室を開催

会長●鈴木　伊三雄／加入世帯●1,400

町民の健康維持と懇親を深めようと、平成15年4月より毎週土曜日の午前10時～12時まで、町内会館で太極拳教室（講師は横浜市太極拳協会所属の方）を開講しています。参加者の年齢は30代から88歳までと幅広く、20人の男女が学んでいます。

●洋光台六丁目西自治会●
犯罪発生を「号外」で知らせる

会長●上原　伸二／加入世帯●322

会員有志によるパトロール（メンバーは3ヶ月毎に更新）を編成し、月に5回パトロールしています。また、月に一度は、地域の小学校PTAが行うパトロールと一緒に回って防犯活動の一体感をつくりだしています。自治会区域内で犯罪が発生した場合は、その手口や発生時間帯など具体的な内容をまとめて自治会報臨時版＝号外を作って全戸に配布しています。

このページに関するお問合せ先●
磯子区地域振興課（電話：045-750-2391）

金沢区・夏山町内会

空き缶回収で地域の一体感づくり

会長●中尾　保男／設立●昭和46年／加入世帯●1,190

役員みんなで取組み、加入率は97.5%

加入促進はこれまで組長を中心に行っていましたが、加入率アップを目指して役員もチームを組み未加入世帯を回って勧誘しました。結果、今年度の加入率は97.5%に。町内会一体となった取組が大事なんだと思いますね。

誰もが気軽に参加できる雰囲気づくり

地域には活動の担い手がたくさんいます。関心を持ってもらうために、機会あるごとに様々な行事(夏祭り、盆踊り、公園祭りと防災訓練など)を企画し、誰もが気軽に参加できる雰囲気づくりを心がけています。退職し時間的余裕のある人に、町内会活動の一端を担ってもらえるアイデアを今、考えています。これから団塊世代が地域に戻ってきますしね。地域への関心を高める工夫が、町内会活動の担い手づくりにつながると思います。

資源回収は子ども会からお年寄りまで一緒

何十年も前から行っている資源回収は、町内会の伝統的な活動の一つです。毎週土曜日の朝、町内会館前に老人会を中心に編成された「NASC※」のメンバーや母親に連れられた小学生たちが集まります。町内の街区から集めてきたアルミ缶などを足で踏みつぶしながら、子どもと高齢者が自然に交流するようになりました。アルミ缶その他のリサイクル品を含め毎年売上が100万円を越えています。

町内会館の前で全員集合！

足でつぶしながら回収しやすくするのも楽しみです

防犯パトロールは大人と子どもの交流に一番

町内会の有志で結成したパトロール同好会が毎日、下校時の子どもの見守りと夜間の防犯・火災予防パトロールを行っています。メンバーは60人ほどですが、毎回20ないし30人のメンバーでパトロールに参加しています。下校時の子どもたちが自然にあいさつを交わすようになり、空き巣被害も減少、活動への意欲がさらに高まっています。

趣味の会活動が町内会活動の原動力

最近、また老人会のメンバーを中心にカラオケ、男性合唱、囲碁、将棋、麻雀、手作りの趣味の会が増えました。老人会を中心にした活動が盛んなのもここの特徴です。趣味の会活動が賑やかなところほど町内会活動も活発になるのでしょうね。

※「NASC」：NATUYAMA SECOND LIFE CLUB

このページに関するお問合せ先●
金沢区地域振興課（電話：045-788-7801）

●富岡桜ヶ丘町内会●
毎日3人体制で防犯パトロール

会長●木村　學／加入世帯●666

まちの安全を、まちの人の手で守るために毎日、3人体制で防犯パトロールを実施しています。パトロールに参加する会員はのべ100人になります。運営の財源を確保する目的で11月に不用品のバザーを実施します。町内会専用のパソコンをより活用するために、毎週木曜日の午後、パソコン教室を開いています。皆さんの関心も高く、実施の手応えを感じています。

●能見台サウスヒル自治会●
「夏休みこども塾」が好評でした

加入世帯●300

平成17年度に開講した「夏休みこども塾」がとても好評でした。宿題の相談や団地内ラリー、オリジナル時計を作るなどして子どもにはいい思い出になったようです。子ども塾のアイデアや先生役はすべて役員が担当しました。しかもマンツーマンで！

自治会専用のパソコンを使って、役員会議などの席でのやりとりをまとめたり、数字データを保存・活用しています。

●六浦高宗台自治会●
みんなで身近な環境に目を向ける

会長●久永　忍／加入世帯●148

役員の一人が幹事を務める「ふるさと侍従川に親しむ会」には、子どもから高齢者までたくさんの人が参加します。侍従川の美化と環境保全に関わり、子どもにとっては生物観察などを通じて身近な自然に触れる良い機会になっています。

未加入世帯、アパート所有者からは「環境整備協力費」の名目で年間自治会費の1／4を納めていただいています。協力費の理解を高めれば財源確保がさらに充実します。

このページに関するお問合せ先●
金沢区地域振興課（電話：045-788-7801）

港北区・下田町自治会

自慢のホームページに最新防犯情報を掲載

会長●新堀　旭／設立●昭和31年／加入世帯●3,572

制作ボランティアは地域から公募

行事のお知らせは回覧板、掲示板で対応してましたが、活動報告などが速やかに会員に知らされていませんでした。そこで４年前、情報を的確に伝えようとホームページ作成の検討を始め、住民アンケートを実施したところ、77%が「希望する」という回答でした。

そこで、制作ボランティアを地域から公募、集まった10名が中心となって情報部を発足させ、平成16年5月、自治会自慢のホームページが完成しました。

情報がたくさんの掲示板

最新の生活情報が活動の活性化に一役

会員から幅広い意見を取り入れて作成するため、女性ボランティアも募集しました。女性のアイデアは、まちのお店や習い事教室などの場所を確認できる『タウンページ』、季節の草花のページなどに反映されています。防犯対策の一環として下田町内外の地域で起こった犯罪を地図に分かりやすく表示しており、これも好評です。事件情報は港北警察署→港北区役所→下田町自治会へとメールで迅速にやりとりしています。

防犯パトロールに加え門灯運動も

週1回のペースで防犯パトロールと学童の登下校の見守り活動をおこなっています。また、各戸の門灯を終夜点灯していただく活動の取組も始めたところです。防犯を訴えるポスターを港北警察署、港北区役所、下田町自治会の連名で、自治会メンバーが作成します。毎回、地域のさまざまな人材の協力をいただきます。今回は役員の知人のイラストレーターへ協力をお願いしました。

下田町公会堂の図書室が大人気

蔵書数も自慢の図書室

毎週土曜に開室している下田町自治会図書室。蔵書は港北区から借りた本、自治会で購入した本、住民の寄贈本で成り立っています。大人の利用が目立ちますが、子どもも楽しめるマンガの冊数もかなりあり、家族での利用も増えています。会員満足度の向上に一役かっています。

木漏れ日のきれいな下田町公会堂

このページに関するお問合せ先●
港北区地域振興課（電話：045-540-2234）

●サンヴァリエ日吉自治会●
会費は一括払い、新聞広告費を財源に

会長●若木　信子／加入世帯●810

分譲、賃貸、社宅の方などさまざまな住民構成ですが、町内会費は一年分を一括で払っていただいています。独自に発行している新聞に企業などの広告を載せ、広告料を財源に充てています。

●綱島東親和会●
ホームページで会員の情報共有

会長●及川　美子／加入世帯●1,040

平成16年から町内会のホームページを開設し、地域の行事計画や各部会の様子を掲載し、会員の情報共有を図っています。子育て情報「すくすくハウス」（0～4歳児対象）のコーナーが人気です。

●親交会●
「福祉まつり」に協力

会長●斉藤　弘／加入世帯●221

地区社協主催の「福祉まつり」で使う食券を町内会で購入し、会場に行かれる高齢者に贈呈しています。また、地区社協のボランティアグループに参画している人たちがミニデイサービスなどに協力しています。

●錦が丘町内会●
効果あり「町内会費の請求文」

会長●加藤　敏也／加入世帯●1,126

事業所や商店などに、年度のはじめに「町内会費の請求文」を送ります。町内会活動への理解と財源の説明も効いてか、かなり成功しています。

●大豆戸町内会●
婦人服の展示即売会

会長●篠崎　元彦／加入世帯●3,649

町内会館を会場にして、婦人服の展示即売会（会員中心）を実施、業者の協力で分割払いもできます。町内会報（月刊）には防犯・防災の特集を随時掲載し、町内の安全・安心につとめています。

●太尾地区連合町会●
安全・安心なまちづくりが一番

会長●植木　貞雄／加入世帯●6,580

平成17年度の活動目標に「防犯」を掲げ、地域内の保育・幼稚園、小中学校、高校とともに「太尾地区防犯連絡協議会」を結成（18年3月）しました。防犯活動を地域ぐるみで行い、安全な街づくりに積極的に取り組んでいます。今後は組織を最大限に活用するため、防犯拠点づくりを目標にしています。

●篠原東第一・第二・第三自治会●
餅つき大会で世代間交流

第一自治会会長●安井　ヤウ子／加入世帯●665
第二自治会会長●青木　秀樹／加入世帯●660
第三自治会会長代行●青木　秀樹／加入世帯●860

伝統的な行事を継承するため、若い世代を対象とした餅つき大会を三自治会合同で約20年前から実施しています。1,000食近いもちを交代でつき、世代間交流を楽しんでいます。

●城郷地区連合町内会●
「小机城址まつり」でまちづくり

会長●林　正之／加入世帯●6,941

「小机城址まつり」（毎年4月）を9町内会と商店街が実行委員会を結成し、協働で取り組んでいます。参加者は毎回500人を超えます。約1キロを武者に扮してパレードします。この祭りを地域ぐるみで行うことで団結力を向上させ、より一層の地域コミュニティづくりに生かしています。

●新吉田いつな町内会●
「音楽と落語の宅配便」

会長●穴原　郷司／加入世帯●260

噺家さんをお呼びして「音楽と落語の宅配便」というイベントを開催しました。これまで2回行いましたが評判は上々です。

このページに関するお問合せ先●
港北区地域振興課（電話：045-540-2234）

緑区・後谷（こうや）自治会

一目瞭然！ 防犯灯マップと防災マップ

会長●篠崎　孝義／設立●昭和43年／加入世帯●515

誰もが一度は役員に

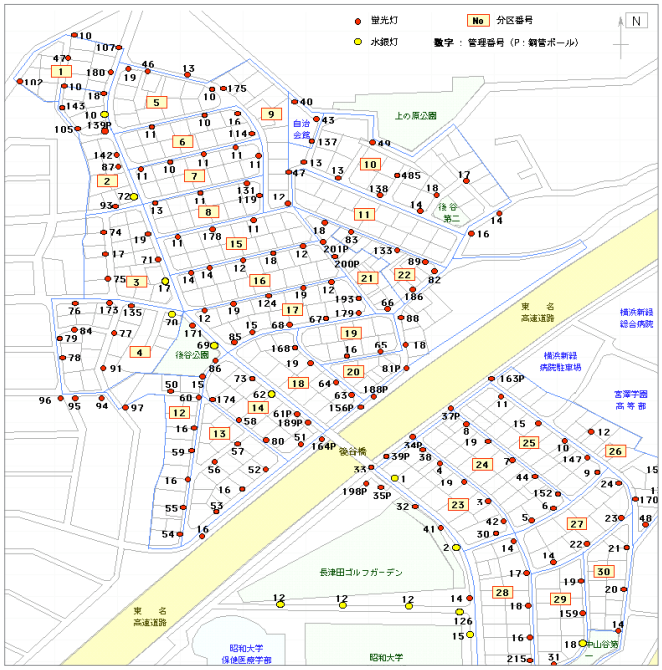
自治会加入率は95%以上の高さを誇っています。15～20世帯を一つの「分区」（他自治会の組・班に相当）として役員を各1名おき、毎年順番に交替し新役員で副会長以下の役職を互選しています。ただし、会長は地域のいろいろな団体や行政との関係づくりに時間が必要なため、複数年勤めることにしています。おそらく設立当初からこの仕組みだったと思いますが、全ての世帯が必ず役員を経験することで、自治会に対する理解度が深まり、 協力的な雰囲気が生まれるのが大きなメリットと考えます。高齢等の事情で役員を務めるのが難しい場合は分区内で話し合い、順番から外すなどの対応をしています。

全世帯調査で「防災マップ」策定

平成17年度に防災を目的の全世帯調査を実施しました。93%の回収率でしたが100%じゃなかったことが残念なくらいです（笑）。「高齢者1人世帯」とか「要介助世帯」といった世帯構成の他、災害が起きた場合に力を貸して頂けるよう、医療・建設関係従事者（経験者を含む）の有無も調査し、その情報を落とし込んで「防災マップ」を作りました。万一災害が起こったとき、被災者の消息の確認や救出に役立てることが出来るよう、定期的な調査とデータ・マップの更新をこれからも続けていく積りです。関連役員で必要な情報は共有していますが、大切な個人情報ですので管理はしっかりとやっています。

明るいまちは犯罪がない～防犯灯の完備

明るいまちづくりを目指して、防犯灯の設置を積極的に進め、暗がりは全くなくなりました。常に防犯灯マップの最新化を図り、平成18年度は全役員で器具等の詳細点検と必要な箇所の補修を行いました。平成17年度は犯罪発生件数ゼロを達成しています。



市電文庫とミニコンサート

昭和47年に市電車輌の払い下げを受け、後谷公園に設置しました。役員会などの集合場所として利用すると同時に、車内に会員から寄せられた本を並べて図書館（市電文庫）にしていました。自治会館の建設に伴い昭和61年に市電は撤去しましたが、図書館は自治会館に引継ぎ、現在も「市電文庫」として自治会活動の重要な役割を担っています。平成18年度は、お話し会・ブラックシアター・グランドハープとフルートのミニコンサート等を開催しました。文化事業を自治会の新しい魅力にと考えています。

このページに関するお問合せ先●
緑区地域振興課（電話：045-930-2232）

●東本郷日鋼自治会●
活動を積極的に見せることが大事

会長●前田　一／加入世帯●510

自治会内の防犯パトロールを有志を中心に週に三回、一日おきに行っています。また、加入者の満足度を高めるために、敬老会、いも煮会、子ども夏祭り（山車、神輿）、ウオーキング、初詣等を実施しています。老人会活動など12の集まりがあり、年間でのべ3,300人近い人たちが参加してにぎやかに行っています。自治会活動に参加して楽しんでもらうことが、未加入の人たちの加入促進につながる早道と考えて実行しております。

●東本郷ばらの会自治会●
みんなが顔見知りになることが一番

会長●森下　孝／加入世帯●645

自治会回収日を設け、資源ゴミ収集への協力を呼びかけています。回収された資源代金や市からの奨励金額を回覧で伝え、協力に対するお礼を忘れません。財源の一部は、一人暮らしのお年寄りを対象とした毎月の食事会（ボランティアばらが担当）活動などに生かしています。

自治会活動を知ってもらう努力を重ね、住民の多くが顔見知りになることが一番です。転入宅への役員訪問では活動説明のみに終わらず、困っていること、自治会に期待することなども聞き出しているため、転入者の多くは好意的です。

自治会館が5年前に完成しました。毎月第四日曜日は自治会館のオープンデーです。趣味などの同好会グループが集まり、自然と住民間の交流が広がっています。オープンデーに開店する「ティールームばら」のおいしいコーヒー、紅茶に話が弾みます。自治会主催のコンサートも人気催事になってきました。

●鴨居第四地区自治会●
「新入会員袋」配布で加入の実感を

会長●高木　秀夫／加入世帯●1,400

引っ越してきた人に自治会への加入を説明する際、班長が「新入会員袋」をもっていきます。袋の中には、自治会概要のほか、町内の地図、ゴミの分別をわかりやすく解説したもの、行政からの回覧物などが入っています。自治会の一員になったという実感をもってもらうためです。加入促進は、連合自治会主催の運動会、盆踊り、こどもフェア、一斉清掃などの行事で積極的に声かけを行うほか当自治会の活動に参加している「オヤジの会」「PTA」の活動メンバーを通じて、働きかけを行っています。

●青砥町自治会●
資源ゴミ収集で財源確保

会長●飯田　靖夫／加入世帯●940

広報宣伝車の巡回やビラ配布を通じて、資源ゴミ回収を積極的に行っています。昨年度、月一回から毎週月曜日に収集を増やした結果、金額にして年間約31万円の実績となりました。今年度は40万円を目標に掲げて収集に力を入れています。

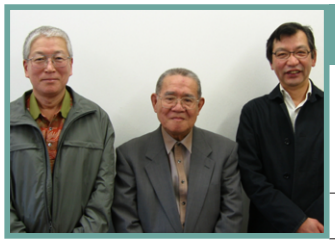
また、町内パトロールや鶴見川、恩田川の河川クリーン活動、町内防災訓練を消防や子供会といった方々の協力をいただいて実施し、地域の一体感づくりに役立てています。拡張予定のある道路の花壇作りを通じたまちの美化運動も浸透しつつあります。

●御前田自治会●
加入促進に向けて訪問活動を展開

会長●近藤　光男／加入世帯●1,190

毎週3回、のぼり旗を先頭にメガホンで声をかけながら防犯パトロールを実施し、自治会活動を目で見える形でPRしています。また、未加入のマンション管理組合や戸建て住宅などの世帯を役員が訪問し、自治会の防犯、防災活動や楽しい行事等を紹介し、加入者を増やしています。

このページに関するお問合せ先●
緑区地域振興課（電話：045-930-2232）



青葉区・藤が丘二丁目A自治会

全防犯灯を40Wへ。維持費捻出にもひと工夫

会長●根津　輝雄／設立●昭和44年／加入世帯●1,550

夜道の危険を解消するために

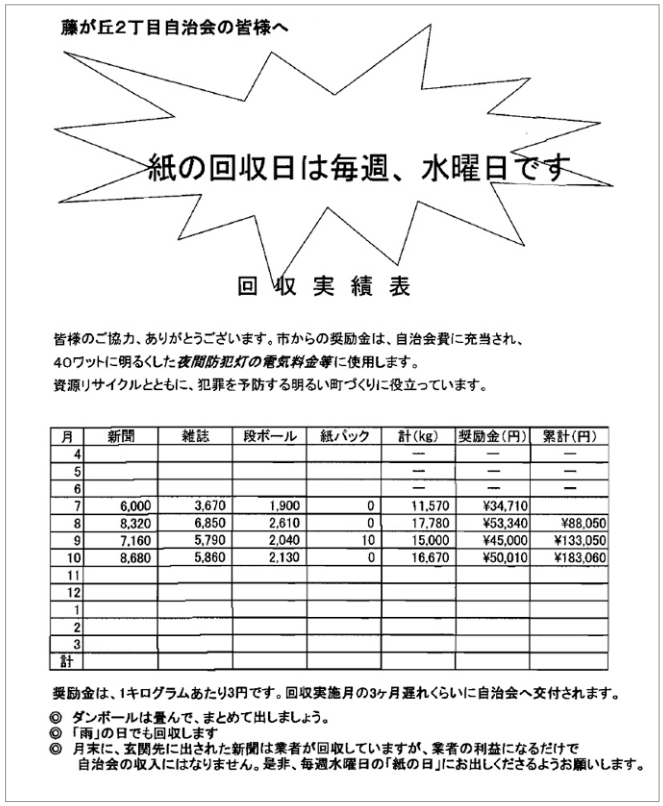
数年前、ある都市で夜道を歩いていた女性が事故に遭われ、それが原因でなくなりました。父親の「もう少し街が明るければ娘は被害に遭わずに済んだ」という言葉を聞き、「明るい町づくり委員会」を設けて地域内の防犯対策を話し合いました。いろいろな意見が出ましたが結論は「地域内の防犯灯を明るくしよう」というものでした。

平成17年から3期に分けて地域の防犯灯150灯すべてを20Wから40Wへ切り替える計画を立てて会員に周知し、第1期はまず50灯を替えました。これが予想外の反響を呼び、2期目は残り100灯を一気に替えることになりました。このほか、田園都市線藤が丘駅に沿ってのびる薄暗い公園通りの道に新たに水銀灯を設置しました。

明るくなった街並み

「あおば紙の日」収入を維持管理費へ

40Wになれば電気代など維持費がかさみます。1世帯あたり1か月100円の自治会費を値上げすることなく、防犯灯の維持費を捻出するには？　という課題が浮かび上がってきました。そこでいろいろ考えた末に、自治会のバス旅行や敬老会、子供会の行事の見直しといった節減策を会員に示し、同意を得ました。さらに、青葉区独自の事業である「あおば紙の日」にあわせて段ボールや新聞紙などの回収を平成18年7月から開始し、横浜市からの奨励金を自治会費に充当し、電気料金や補修費など防犯灯維持費に充てることにしました。“回収実績”は毎月自治会全員に回覧し、資源リサイクル意識の向上とともに自治会費増を狙っています。



藤が丘2丁目自治会の皆様へ

紙の回収日は毎週、水曜日です

回　収　実　績　表

皆様のご協力、ありがとうございます。市からの奨励金は、自治会費に充当され、
40ワットに明るくした*夜間防犯灯の電気料金等*に使用します。
資源リサイクルとともに、犯罪を予防する明るい町づくりに役立っています。

月	新聞	雑誌	段ボール	紙パック	計(kg)	奨励金(円)	累計(円)
4					—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7	6,000	3,670	1,900	0	11,570	¥34,710	
8	8,320	6,850	2,610	0	17,780	¥53,340	¥88,050
9	7,160	5,790	2,040	10	15,000	¥45,000	¥133,050
10	8,680	5,860	2,130	0	16,670	¥50,010	¥183,060
11							
12							
1							
2							
3							
計							

奨励金は、1キログラムあたり3円です。回収実施月の3ヶ月遅れくらいに自治会へ交付されます。

◎ ダンボールは畳んで、まとめて出しましょう。
◎ 「雨」の日でも回収します
◎ 月末に、玄関先に出された新聞は業者が回収していますが、業者の利益になるだけで自治会の収入にはなりません。是非、毎週水曜日の「紙の日」にお出しくださるようお願いします。

まち歩きで地域発見～新規事業を構想中

青葉区の散策コースなどを紹介した冊子『まっぴい・あおばのまち』を会員世帯に廉価で斡旋、気軽にできるウォーキングや歴史探訪などを広める計画です。地域の医療機関に相談して医師、看護師に同行をお願いし、参加者の体調の変化に対応できる態勢も必要ですね。これからも子どもから大人まで誰でも参加でき、探訪することでこのまちに愛着を持ってもらえるような自治会事業を作っていきたいと思っています。

このページに関するお問合せ先●
青葉区地域振興課（電話：045-978-2291）

●桜台南自治会●
「町内能力＝地域環境の力」の創造

会長●棚橋　克郎／加入世帯●260

平成18年度の行動計画書に「町内、地域のあらゆる問題に対処する能力を創造し、高めるような井戸端会議的活動をすすめる」という方針を掲げました。町内挨拶運動の標語を募集したり、いろいろな活動、行事への参加をポスターなどで呼びかけることもしていきます。

●小田急学園奈良自治会●
会員が先生

会長●江守　克彦／加入世帯●730

自治会会員を講師とした勉強会、美術教室、体操教室などを実施し、会員の人材を活用しています。

自治会ぐるみでの防災活動や、防犯プレートの作成・設置などの防犯活動に取り組んでいます。

●新荏田第三自治会●
犬の散歩を下校時の見守りに生かす

会長●長嶺　昭夫／加入世帯●320

防犯パトロールと一目でわかる帽子を着用し、犬の散歩を児童の下校時間にあわせていただく協力を住民にお願いしています。また、希望者を募って当番表を作成し、自治会内の防犯パトロールにも協力をいただいています。自治会連合緑友会、有志などが、映画会やお茶飲み会、ママさん交流、異世代交流会などを利用して積極的に協力を依頼しています。

●美しが丘東自治会●
不用になったものを生かして財源に

会長●柳田　富志男／加入世帯●1,000

人の出入りの激しい地域なので、引越しなどで大量の不用物が出ます。保管場所やその管理をする人の手配など難問もありますが、資源回収に生かせるものもあり、財源確保に活用しようとアイデアを練っています。きれいなまちをつくるため、G30運動に取り組んだり、学校、商店街などと連携した防犯パトロールも実施しています。

このページに関するお問合せ先●
青葉区地域振興課（電話：045-978-2291）

都筑区・牛久保東町内会

同好会で活動参加のきっかけづくり

会長●長澤　政夫／設立●昭和46年／加入世帯●1,075

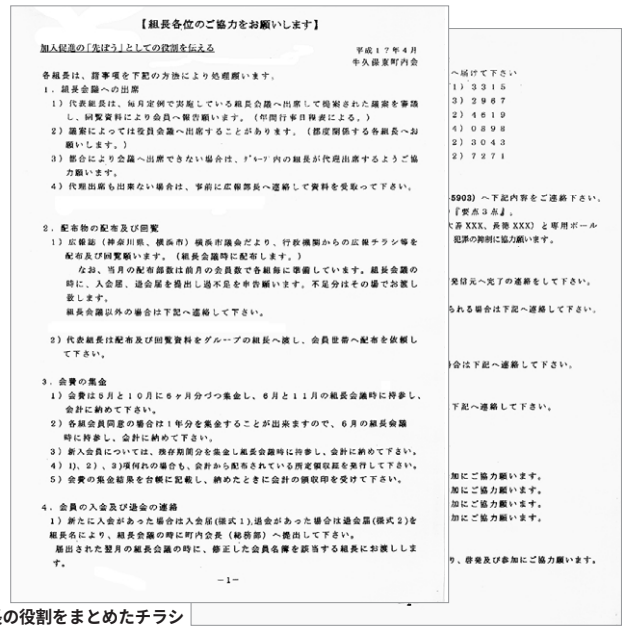
マンション建設説明会に役員が同席

集合住宅の場合、業者が会長宅に挨拶に来ますよね。その時に町内会に入るように依頼するんです。大規模マンションの場合はほぼ100%加入しますね。また建築業者や販売業者の地元説明会に役員が同席して町内会活動への理解をいただき、入居後の加入を訴えます。戸建て世帯には、地区担当組長（場合により役員も同行）が訪問して入会を呼びかけます。

役員の選出は選考委員会で

数年前に住民向けにチラシ「町内会への入会のおすすめ」を作りました。防犯灯の維持管理やごみ置き場、広報紙の配布、年中行事などの町内会活動と会費とその使い道を明記しており、「入会届」を添付してあります。また、年次総会で新しく組長に選ばれた方たちを対象とした研修用資料も作り、加入の勧誘に必要な知識をまとめています。

役員の選出は20名で選考委員会を作り、委員から適任者を推薦してもらいます。委員会でお名前の挙がった方には現職役員が働きかけ、後任として活動していただくようお願いを重ねていきます。



【組長各位のご協力をお願いします】

加入促進の「先ぼう」としての役割を伝える

平成１７年４月
牛久保東町内会

各組長は、諸事項を下記の方法により処理願います。

１．組長会議への出席
　１）代表組長は、毎月定例で実施している組長会議へ出席して提案された議案を審議し、回覧資料により会員へ報告願います。（年間行事日程表による。）
　２）議案によっては役員会議へ出席することがあります。（都度関係する各組長へお願いします。）
　３）都合により会議へ出席できない場合は、ｸﾞﾙｰﾌﾟ内の組長が代理出席するようご協力願います。
　４）代理出席も出来ない場合は、事前に広報部長へ連絡して資料を受取って下さい。

２．配布物の配布及び回覧
　１）広報誌（神奈川県、横浜市）横浜市議会だより、行政機関からの広報チラシ等を配布及び回覧願います。（組長会議時に配布します。）
　　なお、当月の配布部数は前月の会員数で各組毎に準備しています。組長会議の時に、入会届、退会届を提出し過不足を申告願います。不足分はその場でお渡し致します。
　　組長会議以外の場合は下記へ連絡して下さい。
　２）代表組長は配布及び回覧資料をグループの組長へ渡し、会員世帯へ配布を依頼して下さい。

３．会費の集金
　１）会費は５月と１０月に６ヶ月分づつ集金し、６月と１１月の組長会議時に持参し、会計に納めて下さい。
　２）各組会員同意の場合は１年分を集金することが出来ますので、６月の組長会議時に持参し、会計に納めて下さい。
　３）新入会員については、残存期間分を集金し組長会議時に持参し、会計に納めて下さい。
　４）１)、２)、３)項何れの場合も、会計から配布されている所定領収証を発行して下さい。
　５）会費の集金結果を台帳に記載し、納めたときに会計の領収印を受けて下さい。

４．会員の入会及び退会の連絡
　１）新たに入会があった場合は入会届(様式１),退会があった場合は退会届(様式２)を組長名により、組長会議の時に町内会長（総務部）へ提出して下さい。
　　居出された翌月の組長会議の時に、修正した会員名簿を該当する組長にお渡しします。

－1－

組長の役割をまとめたチラシ

「歩け歩け大会」出発前に初期消火訓練

4月には地元の歴史めぐりを目的とした「歩け歩け大会」を開催しています。出発前には都筑消防署、牛久保消防団の協力で初期消火訓練を行っています。ゴールのなつみかん公園では、非常炊き出し訓練（婦人部、子供会）によるおにぎりが参加者に好評です。

おしゃべりも楽しい「歩け歩け大会」

「年輪会」が見守る下校時間

中川小学校の児童が下校する時間帯に、老人クラブ「年輪会」の皆さんが子どもたちの安全を見守ります。活動はPTAばかりでなく子どもたちにも好評で、道で出会うとあいさつをしてくれる人々が増えてきました。

同好会で地域活動参加のきっかけづくり

卓球やグランドゴルフ、ゴルフコンペといった同好の催しを通じて、行事や町内会活動に参加しやすくする雰囲気づくりも行っています。まずは同好の集まりから、徐々に地域に目を向けてもらおうという狙いです。

このページに関するお問合せ先●
都筑区地域振興課（電話：045-948-2231）

●東山田三丁目町内会●
集合住宅の新規会員勧誘

会長●深瀬　武是／加入世帯●300

一戸建てはほとんど加入しているので、集合住宅に対する取組みを行っています。住宅供給公社へ役員が出向き、オーナー名で「加入のお願い」チラシを作成し全戸配布してもらいました。また、加入申込書は会長宅へファックスで申し込めるようにしたり、役員のメールアドレスを入れるなどの工夫をしています。

●長坂町内会●
子どもの成長を記念して

会長●細井　睦生／加入世帯●187

会員宅のお子さんが1年生で入学、あるいは6年生で卒業するときに祝う会を開きます。会には1年から6年までのお子さん全員を招待します。また、工場見学（生活に密着する製品を作っているところ）や野外親睦パーティーなどを通じて会員同士の懇親を図っています。野外親睦パーティーでは、防災訓練を同時に実施し、AED（自動体外式除細動器）の使い方や消火訓練などを行い、たくさんの方が熱心に参加しています。

●高山自治会●
大型商業施設との協力

会長●井上　晴彦／加入世帯●350

自治会の行事開催などに地域内の大型商業施設に協力をお願いしています。協力に対するお礼もこめて、迷惑駐車の追放活動に一緒に取り組むようにしています。

このページに関するお問合せ先●
都筑区地域振興課（電話：045-948-2231）

戸塚区・大坂台町内会

NPO、行政との協働で育てるホタル

会長●鈴木　英邦／設立●昭和41年／加入世帯●250

子ども会活動を中心に活動をPR

40年ほど前から宅地開発され、住民が増えてきた地区にある町内会です。お子さんを通して、町内会活動に興味を持っていただける親御さんが多いので、防犯パトロールをしたり、学校に通うお子さんに防犯ブザーを渡したりしています。

ウォーキング大会で親睦を図る

町内会でウォーキング大会を催しています。先日もさわやかな秋空の下、舞岡公園までおしゃべりしながら歩き、親睦を深めました。回覧板を回すだけでなく、直接電話でお誘いしたりしたので予想以上に多くの人が集まり、「いい運動になったし、来てよかった」と言ってもらえました。積極的にこちらから声をかけることが大事なんだな、と実感しましたね。

ホタルが光るまで～①せせらぎの改修

戸塚公園を町内会で清掃していたところ、せせらぎにホタルの幼虫の餌となるカワニナを見つけました。ホタルが棲息できる環境になるんじゃないか、と期待し、東京のNPO「ホタルの会」に水質調査をお願いしたり、区内に住む「横浜ほたるの会」のメンバーと出会い、いろいろアドバイスをいただきました。その後、戸塚土木事務所の方との合同作業によってせせらぎの改修を行いました。

ホタルが光るまで～②幼虫の放流

平成18年4月、ゲンジボタルの幼虫を、続いて6月にはヘイケホタルの幼虫を子どもたちの手によってせせらぎに放流しました。ホタルが育てば、この町内もにぎやかになり、活性化につながるんじゃないかという期待をこめて。それから文化部と子ども会で、「せせらぎに下りないように、そっと見守りましょう」などと呼びかけるチラシを作って配りました。

ホタルが光った！

今か、今かと見守っていたところ、放流から1カ月後の7月、せせらぎにホタルが光を発しているのを観察しました。早速チラシで速報したところ、たくさんの人が見に来てにぎやかな夏の夜となりました。現在は、町内の二人の小学生がホタルの幼虫の飼育にチャレンジしています。水槽の購入費などは町会費から計上しました。ホタルが育つ環境づくりは、まだまだ長い年月がかかるでしょうが、ホタルの成育を通して、地域の交流が深まっているなと感じています。

早くホタルになって飛んでほしい…願いを込めてホタルの幼虫を放流した

このページに関するお問合せ先●
戸塚区地域振興課（電話：045-866-8415）

●富士見町内会●

「パソコン効果」いろいろ

会長●加藤　邦雄／加入世帯●213

12年前から会長所有のパソコンを使って、町内会のすべての情報＝会員名簿、行事手順、役員会資料、回覧物、ポスター、掲示物などをデータベース化（項目ごとにフォルダーで年度別管理を行い、フロッピーディスクで役員のパソコンへデータ交換）し、各種運営上、大いに役立っています。地域活性化の決め手はパソコンの活用にあります。紙に記録したメモを重視して役員会、諸行事の運営に効果的に活用しています。

町内会活動も基本は効率化にあります。役員会運営（1時間以内）、諸行事運営などすべてをマニュアル化していることが、毎年交代する班長にきわめて円滑な運営と心理的負担の軽減、解消＝年度開始前、次年度班長全員に町会の役割・使命・組織と班長の任務・仕事内容などを説明＝になり、町民が喜んで協力してくれる原点になっています。また、一度班長を経験した若手住民が、次年度より各行事の準備・運営・参加に積極的に協力してくれるのもパソコン効果です。

●秋葉町内会●

地域の大人が子どもを見守る

会長●大久保　忠亮／加入世帯●1,800

二つの小学校（秋葉小、川上小）と連携して、防犯パトロールやスポット見守りといった「学童見守り活動」を行っています。会員同士の親睦の場として、毎年夏に盆踊り大会、11月に町内会館で実施する文化祭がにぎやかです。盆踊りでは多くの模擬店が、文化祭では作品の展示と観賞、お茶会などを通じて交流が深まっています。また、1月14日の小正月には、子供会中心に正月飾りや門松を焚き上げ、団子を焼いて食べる「どんど焼き」を開催し、親子の対話と親睦の輪を広げています。現在、町内会情報の周知と迅速化のために、ホームページ開設の準備に取りかかっています。

●下倉田町内会●

区社協とミニデイサービスを共催

会長●根本　明／加入世帯●1,750

戸塚区社協と協力して、ひとり暮らしの高齢者を対象にミニデイ食事サービスを実施（毎月第4金曜日、町内会館）しています。ボランティア手作りの料理とおしゃべりを楽しむささやかな集まりですが、参加される方たちの笑顔に支えられ、頑張っています。防災活動では消防団の協力をいただき、初期消火取扱い訓練を25年前から継続して行っています。

このページに関するお問合せ先●
戸塚区地域振興課（電話：045-866-8415）

栄区・田谷町内会

水害を契機に防災設備と訓練を充実

会長●磯崎　保和／設立●昭和20年／加入世帯●600

防災用広報スピーカーの設置

町内には柏尾川、関谷川という大小二つの川があります。昭和57年夏の台風では柏尾川が氾濫し、37軒が床上まで浸水した災害を受け、防災対策を急ぎました。平成元年、町内にくまなく音声が届くスピーカーを2基、神社前と最も標高の高い場所に設置しました。台風が接近してくる場合は、その進路予想や気圧、風速、雨の量などを逐一情報として伝え、避難が必要な場合は防災拠点（千秀センター）からアナウンスで知らせます。消防団と協力して使用手順の講習をしたり定期点検時には実際に音を出して機能を確かめます。年に2回の防災訓練でも、参加者の前で音を出してみせます。

平成17年7月には「水害マニュアル」を作成、全世帯に配布しました。風水害発生時の役員の初動体制や高齢者や支援を必要とする人を優先的に避難誘導するなどの方針を伝えています。

ふれあい交流の場でも防災をアピール

非常時には行政や消防はすぐには来られない。まず隣近所で助け合うことが大事です。千秀センター前の広場で秋の芋煮会を開くときには、たくさんの人に集まってもらい、顔見知りになってもらいます。そして消防署の協力をいただき救命救急セミナーを同時開催して防災の意識付けをおこないます。自衛隊の救助などで活躍する移動炊飯機を実際に操作し、炊きあげたご飯をみんなで味わうこともします。

救命救急セミナーで消防士の説明を真剣に聞く参加者

非常時に活躍する移動式炊飯機

福祉施設や地元企業と安心なまちづくり

地域内にある医療センターや老人福祉施設、消防署と、平成17年7月に「消防応援協力覚書」を交わし、災害発生時にはお互いが協力しあうことを約しました。また来年には地元企業と共同で防災訓練を実施したいと思っており、下準備を進めているところです。

このページに関するお問合せ先●
栄区地域振興課（電話：045-894-8391）

●笠間西南町内会●

「町内会に加入しませんか」チラシを配布

会長●増田　昌司／加入世帯●105

未加入の世帯を役員が訪問して「町内会に加入しませんか」チラシとG30のパンフレットを渡し、趣旨を説明します。特にG30は、資源ゴミの収益が活動の財源になることも付け加えて理解をいただいています。

●公田町団地自治会●

自治会機関紙の編集にパソコンを活用

会長●大野　省治／加入世帯●700

自治会で発行する月刊機関紙『くでん』の編集に、パソコンを活用しています。平成18年12月に489号となりました。

歳末福祉バザーの収益＝福祉基金を運用し、会員に無利子で貸与し喜ばれています。団地災害対策本部を設置し、交替を9月の訓練時として、新旧両期の役員が参加協力、防災意識を高めています。全世帯加入促進中。

●上郷町内会●

町内会主催の行事に力を入れる

会長●角田　和宏／加入世帯●930

夏祭りと運動会を町内会の主催で行い、多くの参加者を集めています。敬老会も町内会が主催し、会食と演芸会を企画、実施しています。古紙・衣類の資源集団回収を会員に呼びかけ、その収益を運営の財源にしています。

平成18年5月5日に行った「稲荷森水辺祭り」では、川の上にたくさんの鯉のぼりを泳がせ、子どもたちにビニール凧作りやシャボン玉を楽しんでもらいました。柏餅、筍ご飯をおいしそうに食べる顔が印象的でした。

このページに関するお問合せ先●
栄区地域振興課（電話：045-894-8391）

泉区・下和泉住宅自治会

住民総意の「Eバス」成功が活動の自信に

会長●佐久間　幹雄／設立●昭和37年／加入世帯●970

住民の気持ちが一体となって

ここは区役所から最も遠い地域の一つで、最寄り駅までも徒歩で約25分かかります。団地内の道路は狭く、路線バスは運行できない。まちの高齢化は進み、1／4が65歳以上に。地域の足の確保は切実な問題になり「この現状を何とかしたい」の住民の気持ちが一体となって、平成13年病院などへの送迎福祉ボランティア「あやめ会」活動からスタートしました。その後、民間の観光バス会社と根気強く交渉し、平成14年にミニバス「Eバス」の運行が実現しました。交通利便になったことで若い人が戻ってきています。これが一番の収穫ですね。二世帯住宅の新築、改築が増えているんですよ。

足として欠かせなくなった「Eバス」

日常生活支援型へ活動が広がって

「あやめ会」や「Eバス」運行の実現と成功は、住民自らの手で地域課題を解決できたという自信につながると同時に、住民の自治会への見方が変わり、信頼感というか求心力がアップしましたね。

この成功が多くの活動の活性化に大変貢献しています。平成16年には地区社協で日常生活の手助けを必要とする人を対象に誕生したのが日常生活支援団体「福祉の会」です。住み慣れたまちをもっと良くしたいという住民の声を、様々な委員会を通じて拾い上げ、住民自らの手で家の修繕、庭の手入れなど各種事業を行って地域の福祉向上を図っています。

自治会館にはスタッフが常駐

昨年完成した自治会館は使い勝手もよく、毎日、老人会や子供会をはじめ、子育てサロンや趣味のサークルなどの利用者でにぎわっています。自治会のスタッフが常駐しているからきめ細かな対応も可能となって喜ばれています。会員が気軽にいつでも利用できる充実した会館運営にはスタッフ常駐は欠かせないですね。

子育てサロンはにぎやか

スタッフ常駐の安心感

公募委員による委員会で課題解決

まちづくりの課題ごとに地域から委員を公募し、委員会を設置して検討を加え、課題解決まで解散しない仕組みをつくっているのも特色です。一つの課題を役員だけで検討すると、役員任期が切れると実行が先送りになることもあります。そのため「委員会方式」で意欲のある人に最後まで担当してもらいます。この方式はトップダウンによる運営だけでなく、住民の自主参画を促すのが狙いだったのですが、自分たちの手でまちを良くしていくことの感動が味わえて地域活動のやりがいにつながっています。

このページに関するお問合せ先●
泉区地域振興課（電話：045-800-2391）

●緑園五丁目自治会●
スポーツ広場、公園の清掃に多くの参加

会長●深山　収／加入世帯●360

スポーツ広場周辺の清掃を月に一回、実施しています。毎月第二日曜日は、朝9時から公園の清掃を行います。草刈りや生い茂った枝の剪定作業には会員や班長、役員など総勢40人近くが参加します。清掃作業を通じた交流から会員の要望も聞くことができるので有意義です。

●和泉栄町内会●
食事とおしゃべりで楽しく

会長●加山　明／加入世帯●585

月に一回、町内の73歳以上のひとり暮らしの方を対象に、昼食サービスを行っています。無料というわけにはいかないので、わずかな参加費をいただいています。福祉のボランティア活動に積極的な女性会員の有志が中心になって取り組んでいます。なかなか評判がよく、高齢者の楽しみの一つになっています。

●和泉中村町内会●
事業所、店舗からも町内会費

会長●新藤　隆雄／加入世帯●1,110

協力事業所（事業所、店舗）加入のお願いとして、現在68の事業所と店舗から500～2,000円／月額の範囲で協力会費を頂戴しています。事業所などによっては何のメリットもない場合もあるのですが、ご理解とご協力をお願いしています。

●ひなた山第二自治会●
自治会館の利用をパソコンで

会長●大黒　常雄／加入世帯●304

3年前に自治会のホームページを開設しました。自治会館を利用するための申込みや予約・利用状況の確認をパソコンを使って行っています。

ふれあいクラブなど8つのクラブも活動が盛んです。

http://www.geocities.jp/hinatayamadai2/

このページに関するお問合せ先●
泉区地域振興課（電話：045-800-2391）

瀬谷区・瀬谷四丁目町内会

「遠い親戚より隣に住む町内会員」をPR

会長●籾山（もみやま）　民雄／設立●昭和24年／加入世帯●1,350

助け合う気持ちを広げて加入促進

町内を4ブロックに分け、それぞれに副会長と庶務、会計を置いています。副会長には加入促進をはじめ、体育指導委員や青少年指導員などの委嘱委員に適任な人を常に把握・発掘しておいてもらうなど、各ブロックのとりまとめをしてもらっています。また防犯防災や広報なども各副会長の役割となっています。

「遠い親戚より、隣に住む町内会員」。町内会の活動内容や会費を書いた加入案内チラシを作って、町内会への理解と参加、協力をPRし続けています。マンション住民の増加などもありますが、平成6年に1,080だった加入世帯は、16年に1,280、そして今は1,350に伸びています。

町内会の「健康体操」が区民イベントへ

毎週月曜から金曜日の朝8時から30分間、近くの「はらっぱ」で健康体操をしています。ドイツで、医師とスポーツ指導者が健康チェックとアドバイスで健康づくりに取り組む小さなまちを視察したのがきっかけです。初日の参加者はわずか4人。今では40人程度が集まります。遅刻・早退問題なし。自由参加、雨模様でも傘がいらない程度なら実施、といったことがルールみたいなものです。

年に数回、地域のお医者さんや保健センターによる健康講座や食材講座、認知症予防のための脳体操、懇談会、ウォーキング会などもやっています。朝の健康体操に集まる人は積極的に地域の行事にも顔を出してくれます。こうして、ご自身の健康に関心を持つ習慣を身につけた人が少しずつ増えています。瀬谷区から健康の波を広げる「区民健康ウェーブ2006」（実行委員会主催・8回目）にも参加、ラジオ体操や親子体操、太極拳、空手、少林寺拳法などの演武、フラダンス、よさこいソーラン踊りなど23団体が参加しました。お金をかけず、無理なく楽しく続けられる健康づくりが、町内会活動から生まれたわけです。

親子で楽しめる「どんと焼き」

朝の体操は、この地区にすっかり定着した

募金で建てた防犯ステーション

「街の防犯は地域の力で」。相鉄線瀬谷駅北口の防犯ステーション建設がその第一歩。相鉄線瀬谷駅を利用する他の町内会も含め、1世帯100円の募金を呼びかけたところ200万円が集まり目標達成！　募金で建設費用のほとんどが賄えました。現在は午後2時から6時まで2名ずつ、各町内会が輪番制でボランティアが詰めています。年に一回でもみんながまちのために何かをする、一人に負担を押しつけない。誰でもできる、苦痛にならない活動、それが集まって地域の力になり、安全なまちづくりができます。

何かと心強い「防犯ステーション」

いざという時5人が対応できるしくみを

災害が起きた時、足腰が弱っているなど援助を必要とする人が町内に何人いるか、どこに住んでいるかをまずしっかりと把握しておきたい。いざというときには、援助を必要とする人1人に対して町内会の会員5人が対応できるしくみをめざしています。

このページに関するお問合せ先●
瀬谷区地域振興課（電話：045-367-5691）

●三ツ境グリーンハイム自治会●

4大イベントに地域の力を結集

会長●岡村　進／加入世帯●209

納涼の夕べ、敬老の集い、餅つき大会と桜まつりがビッグイベントです。それぞれに元気会（ボランティアグループ）、桜会（高齢者昼食サービス）、公園愛護会と子ども会の協力があってこそ運営がスムーズに進み、盛り上がります。会員の間では月刊紙「グリーン通信」が好評です。

●本郷第一自治会●

年間行事を通じて親睦を深める

会長●上田　三郎／加入世帯●446

5月の枝切り、街路灯の交換作業にはじまり、四季折々の行事、3月の親睦旅行までさまざまな活動を通じて会員同士の親睦を図り、地域の安全・環境改善に努めています。また、地域や自治会の問題は会員からの相談に応じ、解決のための署名活動なども行っています。

子どもたちが楽しみにしている「夏まつり」

●干池（からいけ）自治会●

福祉施設と消防応援協定

会長●杉本　荘二／加入世帯●425

地域共生の立場から、地域に隣接する特別養護老人ホームと「消防応援協定に関する覚書」を取り交わしました。万一の場合の被害を最小限に食い止めるためです。

高齢者中心の交流サロンを開いて、会員の意見や情報を交換する場をつくり、会員の作品展示などを通じて自治会への関心を高める工夫を、できることから一つずつ形にしていきたいと考えています。

このページに関するお問合せ先●
瀬谷区地域振興課（電話：045-367-5691）